Charcoal

Charcoal and Chalk Drawings

akvis.com

CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- Linuxでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
  - ワークスペース
  - 操作方法
  - 木炭/チョーク画
  - タイムライン
  - ツールとそのオプション
  - キャンバス
  - フレーム
  - テキスト
  - プリセット
  - 環境設定
  - バッチ処理
  - 印刷
- 操作例
  - 木炭画スケッチ
- AKVISプログラム

AKVIS CHARCOAL 7.0 | 簡単なステップで写真が木炭画になります！

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用した絵のように変換することのできる芸術的なツールです。有名なアーティストになった気分を味わえます!

木炭 は、描画材料としてよく用いられるものの1つです。下書きのスケッチから完成された芸術作品まで、様々な作品を作り出すことができます。異なる材料の特長を上手に活かしながら、融合させることができ、異なるいくつかのツールと一緒に使用できます。尖らせた木炭の先端で描画すると、細い鮮明なラインになります。木炭を寝かせて描くと、幅の広いぼかしたラインになります。木炭は、趣のあるストロークを繊細、かつ力強く描画します。

チョーク は、子供たちが最初に手にするお絵かき用の材料の一つです。舗装された道路や薄い色つきの紙にスケッチしたり、大きな絵をかいたりするのにピッタリです。チョークは、明るい部分をハイライトしたり、アクセントを付けたり、ボリュームを加えたりするのに使用されます。

AKVIS Charcoal では、木炭とチョーク、それぞれの材料を使った絵や異なる材料を用いて白黒のコントラストが際立つ絵を描くこともできます。

色の設定やオプションを変えることにより、様々なバリエーションの変換結果を得ることができ、*紅殻チョーク画*など、芸術的な効果を演出することもできます。

写真が木炭/チョーク画に変換される様子を、リアルタイムで観察できます。タイムライン機能は、変換する際にスナップショットを撮影し、その中から選ぶことができる驚きの機能です。この素晴らしいタイムライン機能により、設定を調整することなく、様々なバリエーションの絵を作り出すことができるようになりました。

背景の紙の色を変えることによって、最終結果のイメージを変えることができます。作品をより本物らしくするために、様々なキャンバス　テクスチャを追加することもできます。イメージに自分の署名を追加するなら、本物のアーティスト、芸術作品の生みの親の気分も味わえます。豊富な装飾ギャラリーからフレームを選んで適用できます!
想像力/創造力を大いに発揮し、ソフトウェアの全機能をフルに活用ください!

プログラムには、内蔵のプリセット（すぐ試用可能な設定）一覧があり、これらの設定を使用すれば、ソフトウェアでの作業がより簡単にでき、時間の節約にもなります。パラメーターの組み合わせが気に入った場合は、独自のプリセットとして保存することができます。

複数のイメージを変換したい場合でも、ご安心ください。バッチ処理機能を使用すると、同じ設定で一連の（複数の）イメージを自動的に変換することができます。すべての写真を木炭画に変換し、木炭画のコレクションを素晴らしいカートゥーン ビデオにすることもできます!

AKVIS Charcoal は、Windows版と Mac/Linux版の両方で用意されおり、*スタンドアロン* プログラムとして、またフォトエディターの*プラグイン*としても使用できます。互換性のあるプログラムは、AliveColors、Adobe Photoshop、Photoshop Elements、Corel PaintShop Pro などです。詳細は、対応表をご覧ください 。

プログラムの機能は、ライセンス タイプ (Home/Home Deluxe/Business) によって異なります。試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、自分に合ったライセンス タイプを選んで購入できます。

WINDOWSでのインストール

AKVIS Charcoal を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

注 意:このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

AKVISプログラインをインストールする前に、ご使用のフォトエディタが終了していることを確認してください。インストール中にフォトエディタが開いたままの場合、それを再起動する必要があります。

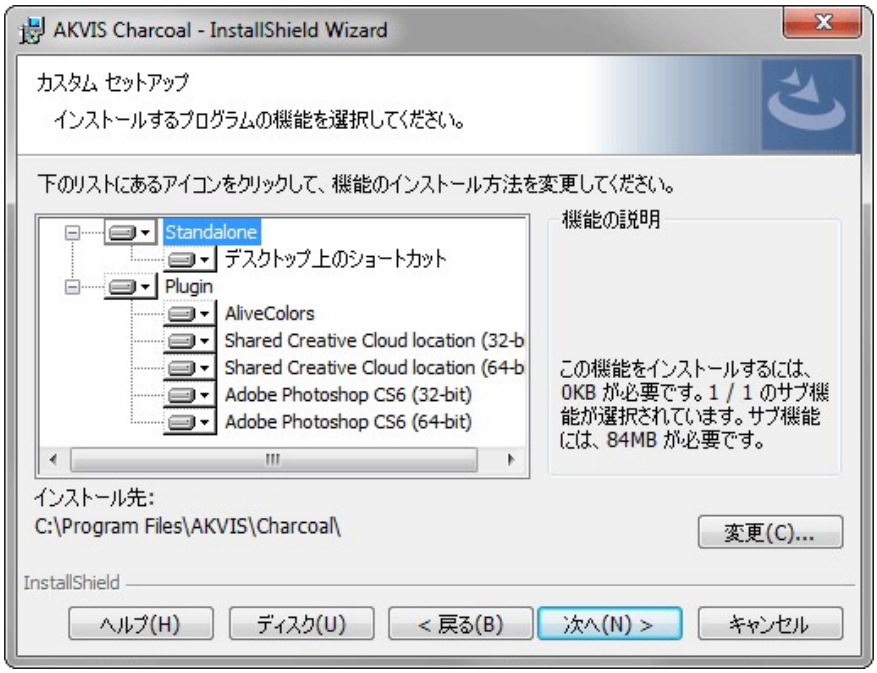
1. セットアップ用の **exe** ファイルをダブルクリックして起動させます。
2. 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
3. インストールを続行するには、**ライセンス契約書**を読み、同意する必要があります。

   [使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。

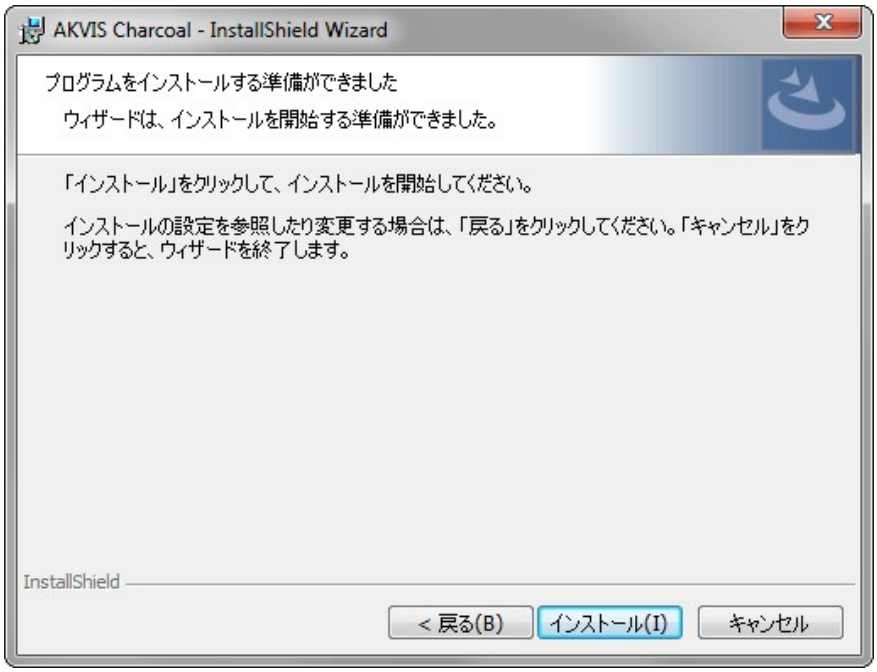
4. **プラグイン**版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

   スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。
   デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、 [デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

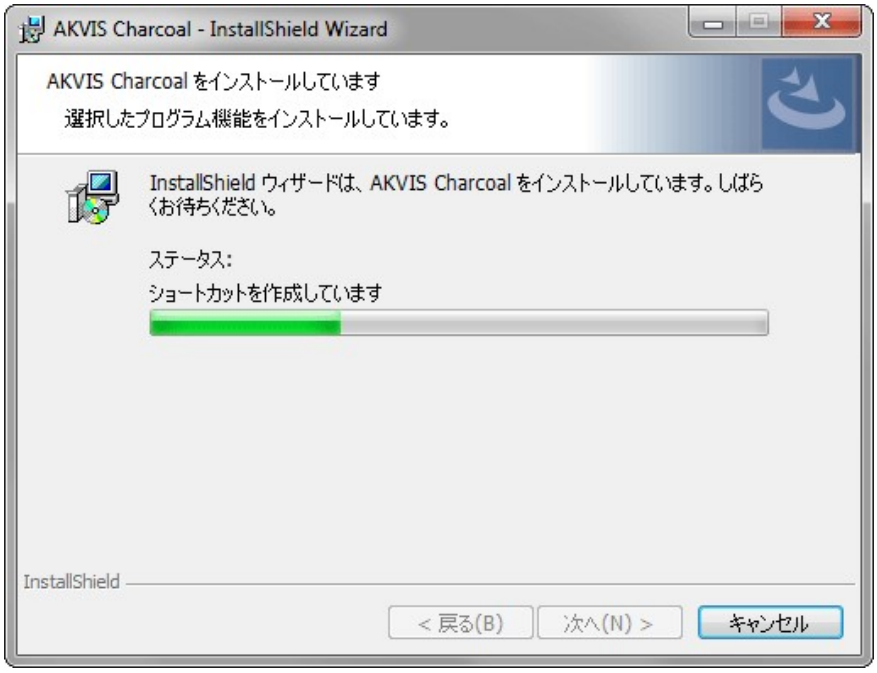
   [次 へ]をクリックします。



5. **[インストール]**ボタンをクリックします。

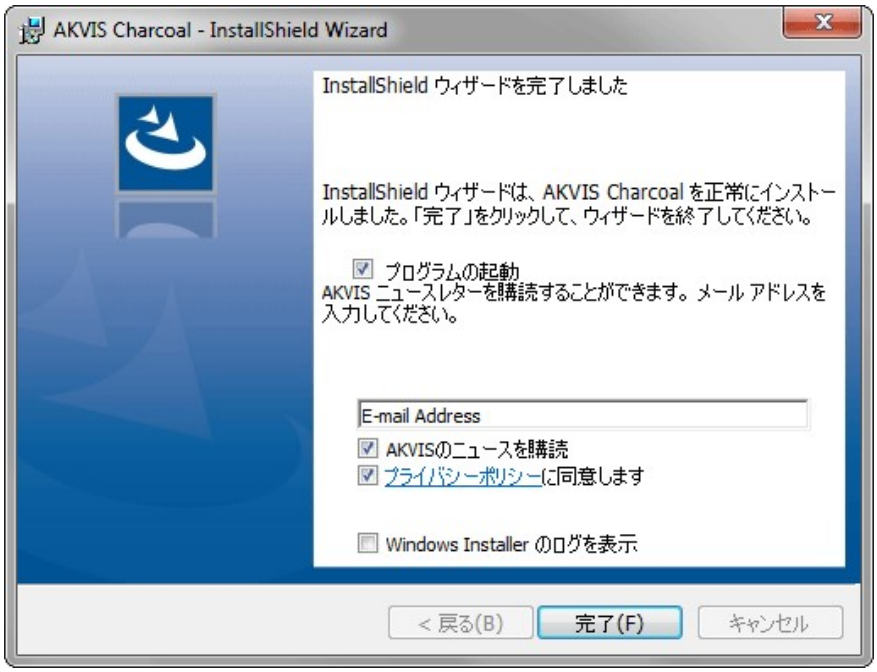


6. インストール処理が開始されます。



7. これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引きキャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



8. **[終了]**をクリックします。

スタンドアロン版をインストールすると、**[スタート]**メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]または[効果]メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合、[フィルター] > [AKVIS]> [Charcoal]となります。

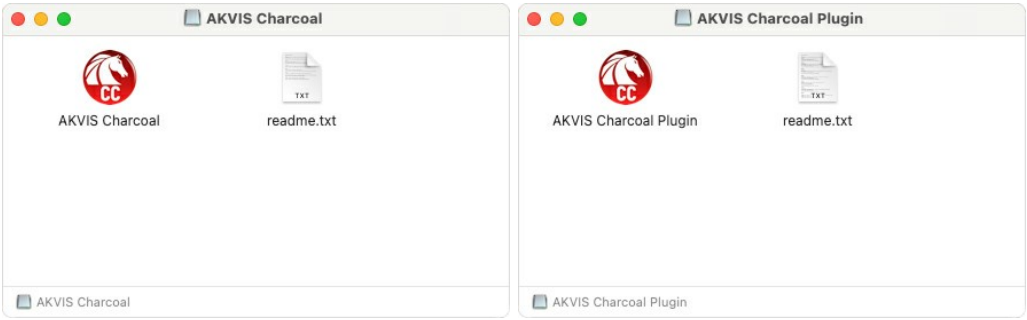
MACでのインストール

AKVIS Charcoal を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

1. **dmg** ファイルを開きます:
   - **akvis-charcoal-app.dmg** (**スタンドアロン版**をインストールする場合)
   - **akvis-charcoal-plugin.dmg** (**プラグイン版**をフォトエディターにインストールする場合)
2. **ライセンス使用許諾契約書**を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。

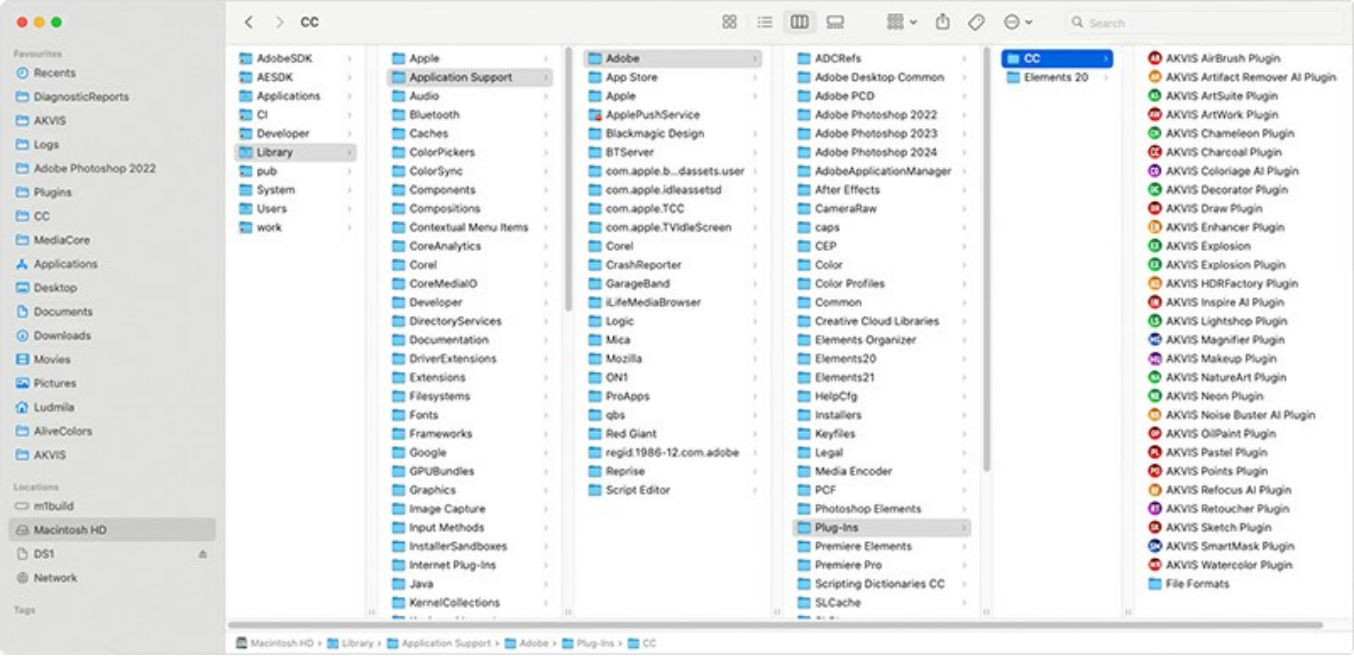
3. **Finder** が開き、**AKVIS Charcoal App** または **AKVIS Charcoal PlugIn** フォルダーが表示されます。



4. **スタンドアロン版**をインストールするには、 **AKVIS Charcoal** アプリケーションを **[Applications]** フォルダー、または希望の保存先にドラッグします。

   プラグイン版をインストールするには、**[AKVIS Charcoal PlugIn]**フォルダーを、グラフィック エディターの**[Plug-Ins]**フォルダーにドラッグします。

   Photoshop CC 2022, CC 2021, CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、**Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC**
   Photoshop CC 2015 の場合、**Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-ins**
   Photoshop CS6 の場合、**Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins** に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合は、**[フィルター] > [AKVIS] > [Charcoal]**が追加されます。

スタンドアロン版は、**Finder** のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、**Photos** アプリケーションを選択することです（High Sierra 以降の macOS)。

INSTALLATION ON LINUX

Note: The AKVIS programs are compatible with **Linux kernel 5.0+ 64-bit**. You can find out the kernel version using the **uname -srm** command.

Follow the instructions to install the AKVIS software on a Linux computer.

Installation on **Debian**-based systems:

Note: You need apt-install or apt-get permissions required to install software.

1. Run the terminal.
2. Create a directory to store keys:

```
sudo mkdir -p /usr/share/keyrings
```

3. Download the key that signed the repository:

```
curl -fsSL https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null
```

or

```
wget -O - https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null
```

4. Add the repository to the list where the system looks for packages to install:

```
echo 'deb [arch-=i386 signed-by=/usr/share/keyrings/akvis.gpg] https://akvis-deb.sfo2.cdn.digitaloceanspaces.com akvis non-free' | sudo tee /etc/apt/sources.list.d/akvis.list
```

5. Update the list of known packages:

```
sudo apt-get update
```

6. Install AKVIS Charcoal

```
sudo apt-get install akvis-charcoal
```

7. The installation is completed.

   Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates, use the command:

```
sudo apt-get upgrade
```

   To remove the program:

```
sudo apt-get remove akvis-charcoal --autoremove
```

Installation on **RPM**-based systems (**CentOS**, **RHEL**, **Fedora**):

1. Run the terminal.
2. Register the key that signed the repository:

```
sudo rpm --import https://akvis.com/akvis.asc
```

3. Add the repository to the system:

```
sudo wget -O /etc/yum.repos.d/akvis.repo https://akvis.com/akvis.repo
```

4. Update the package list:

   when using the **dnf** package manager:

```
sudo dnf update
```

   when using the **yum** package manager:

```
sudo yum update
```

5. Install AKVIS Charcoal:

when using the **dnf** package manager:

```
sudo dnf install akvis-charcoal
```

when using the **yum** package manager:

```
sudo yum install akvis-charcoal
```

6. The installation is completed.

   Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

7. For automatic updates:

   when using the **dnf** package manager:

   ```
   sudo dnf upgrade
   ```

   when using the **yum** package manager:

   ```
   sudo yum upgrade
   ```

8. To remove the program:

   when using the **dnf** package manager:

   ```
   sudo dnf remove akvis-charcoal
   ```

   when using the **yum** package manager:

   ```
   sudo yum remove akvis-charcoal
   ```

Installation on **openSUSE**.

1. Run the terminal.
2. Login as a root user.
3. Add the key that signed the repository:

   ```
   rpm --import http://akvis.com/akvis.asc
   ```

4. Add the repository to the system:

   ```
   zypper ar -r https://akvis.com/akvis.repo akvis
   ```

5. Update the package list:

   ```
   zypper ref
   ```

6. Install AKVIS Charcoal:

   ```
   zypper install akvis-charcoal
   ```

7. The installation is completed.

   Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates:

   ```
   zypper update
   ```

   To remove the program:

   ```
   zypper remove akvis-charcoal
   ```

Installation using **Flatpak**:

1. Run the terminal.
2. Add the Flathub repository

   ```
   sudo flatpak remote-add --if-not-exists flathub https://flathub.org/repo/flathub.flatpakrepo
   ```

3. Add the AKVIS repository

```
sudo flatpak remote-add --if-not-exists akvis --from https://akvis-
flatpak.sfo3.cdn.digitaloceanspaces.com/com.akvis.flatpakrepo
```

4. Install AKVIS Charcoal:

```
sudo flatpak install -y akvis com.akvis.akvis-charcoal
```

5. The installation is completed.

   Launch the program using the program shortcut or the terminal:

```
flatpak run com.akvis.akvis-charcoal
```

6. To update all installed flatpaks, use the command:

```
sudo flatpak update -y
```

   to remove the program:

```
sudo flatpak remove -y com.akvis.akvis-charcoal
```

In order to display the program interface correctly, it is recommended to install the Compton or Picom composite manager.

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「オフライン アクティベーション」を参照)。

AKVIS Charcoal をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。 インストール方法の詳細はこちら。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の ボタンをクリックして表示することもできます。

ソフトウェアを試しに使う場合は、**[試用]**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。**Home**(プラグイン/スタンドアロン)、 **Home Deluxe** または**Business**から選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、比較表を参照してください。

試用期間が終了している場合、**[試用]** ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、[アクティベート]をクリックします。

お客様名を入力します (プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号 (アクティベーション キー) を入力します。

アクティベーション方法 (アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール) を指定します。

アクティベーション サーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です!

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、**オフライン アクティベーション**でも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB　等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを移動させます。情報の送り先:activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください！テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID) です。

この情報を元に、ライセンス ファイル(**Charcoal.lic**) を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この **.lic** ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの **[AKVIS]**フォルダー ([ユーザー] > [パブリック] > [パブリックのドキュメント]) です。

- **Windows** の場合:

  Users\Public\Documents\AKVIS;

- **Mac** の場合:

  Users/Shared/AKVIS

- **Linux** の場合:

  /var/lib/AKVIS

これでアクティベーションは完了です!

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、**Home** から **Home Deluxe** または **Business** へのアップグレードができます。

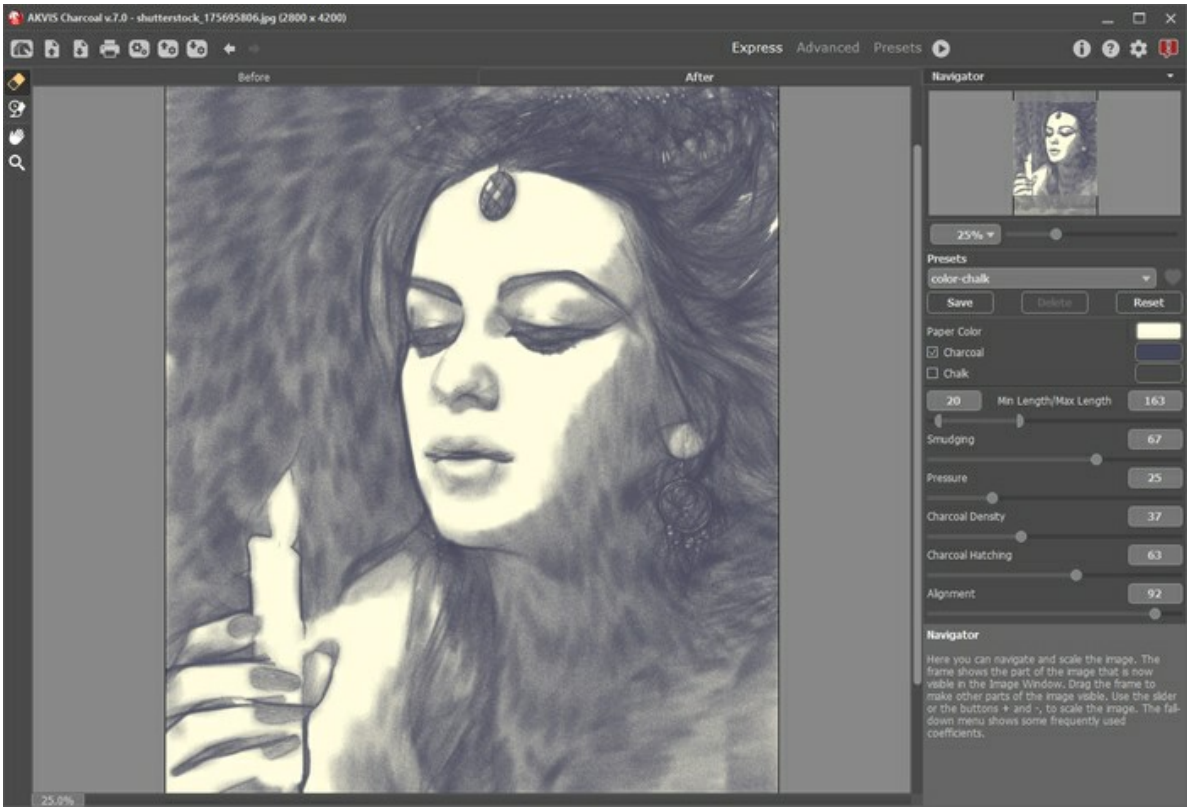
ワークスペース

AKVIS Charcoal は、デジタル写真を木炭やチョークで書いた絵のように変換することができます。ソフトウェアは、独立した*スタンドアロン* プログラムとして、また、ご使用のフォトエディターの*プラグイン*としても機能します。

> *スタンドアロン*は独立したプログラムです。通常通りの方法で起動できます。
>
> *プラグイン*版は、Photoshop、AliveColors、その他互換性のあるプログラムのグラフィック　エディターのアドオンです。 プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

ワークスペースの配置は、**コントロールパネル**で**簡易モード**、**詳細モード**と**プリセット**のどちらを選ぶかで異なります。

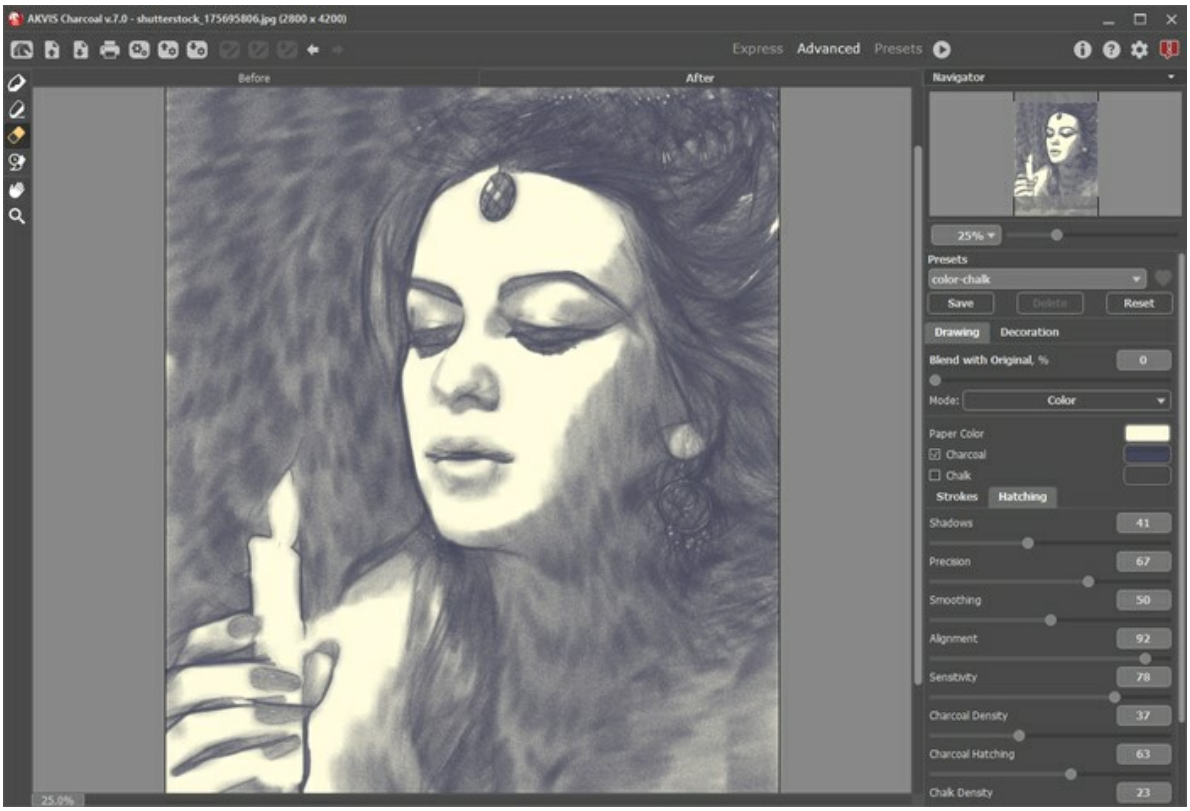
簡易モードのインターフェイスは非常にシンプルになっています。最低限のツールだけである程度の結果を短時間で得ることができます。



AKVIS Charcoal のワークスペース (簡易モード)

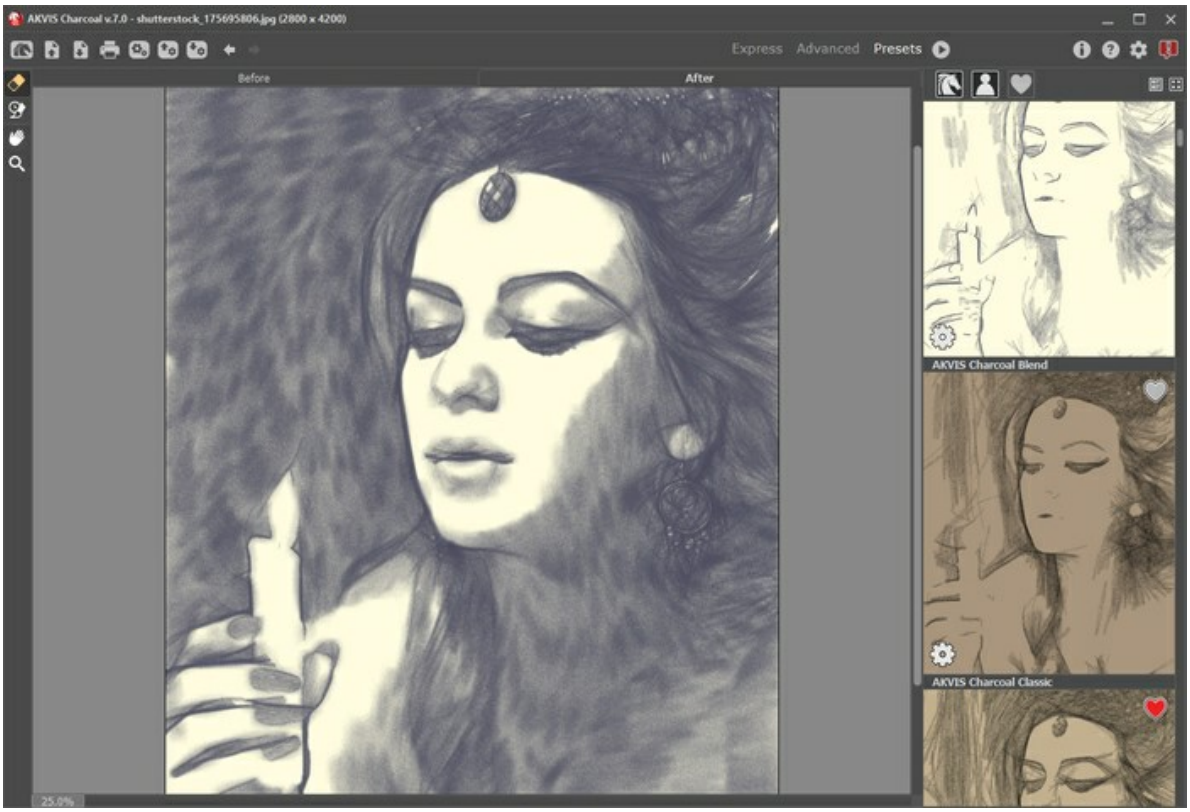
詳細モード では、プログラムのすべての機能を利用できます。[オプション]、[装飾]の各タブにあるすべてのパラメーターやツールを利用できます。

注意:　すべての機能とパラメーターは、**簡易モード**で使用できます。中には、デフォルト値を使用するために隠されているものや特定のプリセットの値を使用するものなどがあります。



AKVIS Charcoal のワークスペース (詳細モード)

トップパネルの**[プリセット]**をクリックすると、プリセットの視覚表示モードを切り替えることができます (プリセット ギャラリー)。



AKVIS Charcoal のワークスペース (プリセット モード)

AKVIS Charcoal のウィンドウ左側には**イメージ ウィンドウ**があり、[処理前]と[処理後]**[処理前]**と**[処理後]**の2つのタブで構成されています。**[処理前]** タブには元のイメージが表示され、 **[処理後]** タブには変換後の画像が表示されます。タブを切り替える場合は、タブをクリックします。処理前と処理後の画像を比較したい場合、イメージをクリックしたままの状態にすると、画像が何秒かごとに切り替わります。

プログラムのウィンドウの上部には、**コントロールパネル**があります。

: **AKVIS Charcoal**のホームページに移動します。

: イメージを開きます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Wihdows の場合 Ctrl +O キー、Mac の場合 ⌘ +O キーです。

このボタンを右クリックすると、最近使用した画像の一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの[環境設定]で変更することもできます。

：処理したイメージを指定の形式で保存します(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Wihdows の場合Ctrl+Sキー、Mac の場合⌘+Sキーです。

：**[印刷]** ダイアログボックスが開きます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Wihdows の場合Ctrl+Pキー、Mac の場合⌘+Pキーです。

ボタン(スタンドアロン版のみ)：画像をまとめて自動変換できる**バッチ処理**ダイアログを開きます。

：プリセット一覧をインポート します(**.charcoal** ファイルから)。

：プリセットをエクスポート します。プリセットとは、ユーザーが保存しておいたイメージ処理に使用する各種設定のことです。プリセットは**.charcoal** 拡張子の別ファイルに保存できます (保存可能なプリセット数に制限はありません)。

/ ：誘導ラインの表示を切り替えます。

：保存されている誘導ライン(**.direction** ファイル)を読み込みます。

：誘導ラインを**.direction** ファイルに保存します。

：各ツールを使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合Ctrl+Zキー、Mac の場合⌘+Zキーです。

：最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。この操作に対するホットキーは、Windows の場合Ctrl+Yキー、Mac の場合⌘+Yキーです。

：現在の設定でイメージの処理を実行します。処理後の画像が**[処理後]**タブに表示されます。

：変換結果をイメージに適用し、プログラムを閉じます(プラグイン版のみ)。

：プログラムに関する情報、つまりバージョン、試用期間、ライセンス情報を表示します。

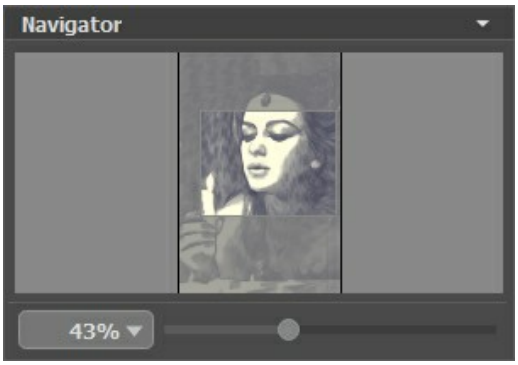
：**ヘルプ**ファイルを呼び出します。この操作に対するホットキーは、F1キーです。

：プログラムのオプション設定を変更するための **[環境設定]**ダイアログボックスを開きます。

：このボタンは、Charcoalに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。

メイン ウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。アクティブなタブ、 **[処理前]** または **[処理後]**タブによって表示されるツールは異なります。ツールは、機能別にグループに分けされています。事前処理 (**[処理前]** タブ)、 後処理 (**[処理後]** タブ)、 追加 ツール ([処理前] と [処理後] タブ)。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには**ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター**の赤枠で囲まれた領域は、現在イメージ ウィンドウに表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、イメージ ウィンドウに表示されません。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更できます。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



ナビゲーター

イメージ ウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースバーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、Ctrlキーを押しながらの場合は左右に動き、Altキーを押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーを使用して、**イメージ ウィンドウ**内のイメージを拡大/縮小することができます。スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。スライダーを左に動かすと、イメージは縮小されます。

さらに、[拡大/縮小]欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。プルダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。+とCtrl++(Mac の場合は⌘++) で拡大、-とCtrl+-(Mac の場合は⌘+-)で縮小します。

ナビゲーターの下にある設定パネルには、**[スケッチ]**タブと**[装飾]**タブがあります。

スケッチ:写真から木炭/チョーク画へ変換するための様々なパラメーターを調整できます。

装飾:画像にテキストを追加したり、キャンバスを変更したり、フレームを適用したりできます。

[プリセット]フィールドでは、現在の設定内容をプリセットとして保存できます。保存したプリセットは後で使用できます。現在の設定は保存だけでなく、編集や削除もできます。プログラムの起動時には、最後に使用したプリセットが使用されます。

設定パネル の下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に **ヒント** が表示されます。ヒントの表示位置や表示/非表示の設定はプログラムの**環境設定**で行うことができます。

操作方法

AKVIS Charcoal は、木炭やチョークを使用して描画した絵のように変換させます。このソフトウェアは、*スタンドアロン* プログラムとして、またフォトエディターの*プラグイン* フィルターとしても使用できます。

ライセンスの種類によってプログラムの機能が異なります。比較表をご覧ください。試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。

写真から木炭/チョーク画に変換するには、以下の手順で行います。

ステップ 1:イメージを開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

空のワークスペースをダブルクリックするか、**コントロール パネル**の をクリックすると、[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。使用可能なホットキーは、Windows の場合 Ctrl +O キー、Mac の場合 ⌘ +O キーを押しながらクリックします。ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。
スタンドアロン版は、**JPEG**、**RAW**、**PNG**、**BMP**、**TIFF**、**WEBP** ファイル フォーマットをサポートしています。

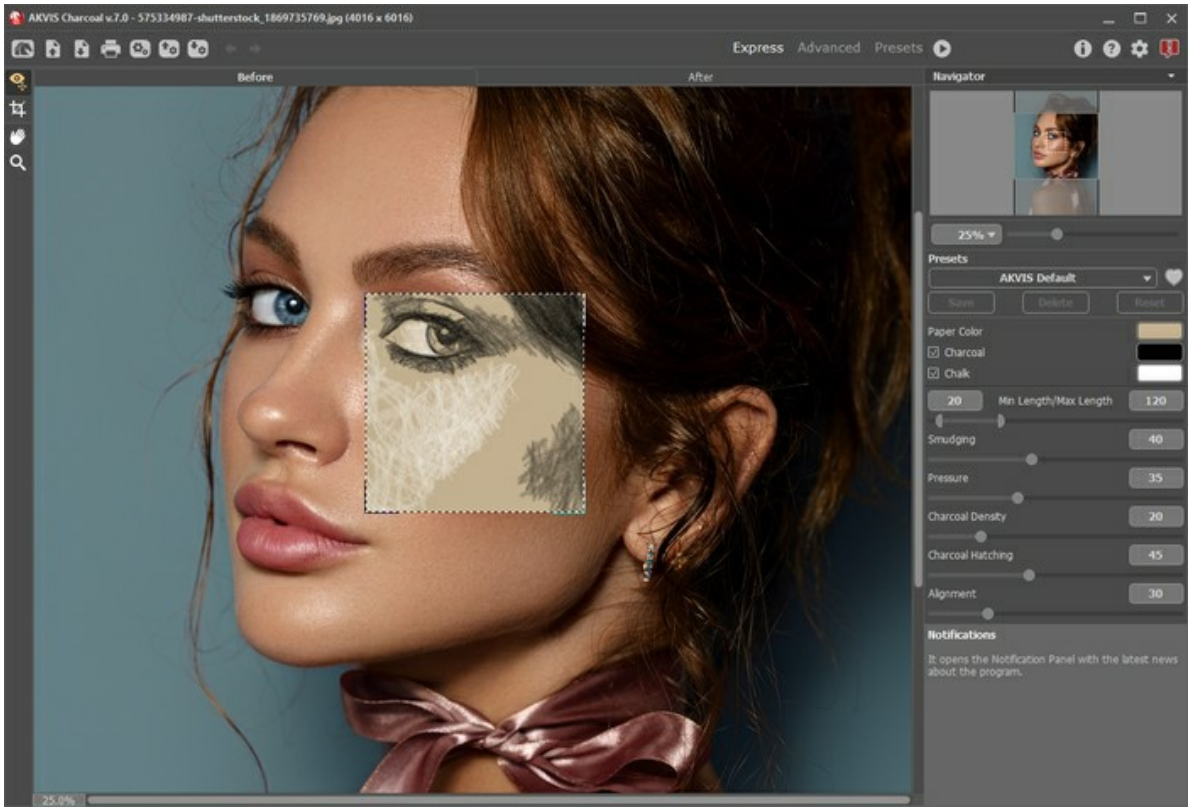
プラグイン版で作業する場合:

使用するフォトエディター の**[ファイル] > [開く]**コマンドを使用して画像を開きます。

フォトエディターのメニューからプラグインを呼び出します。

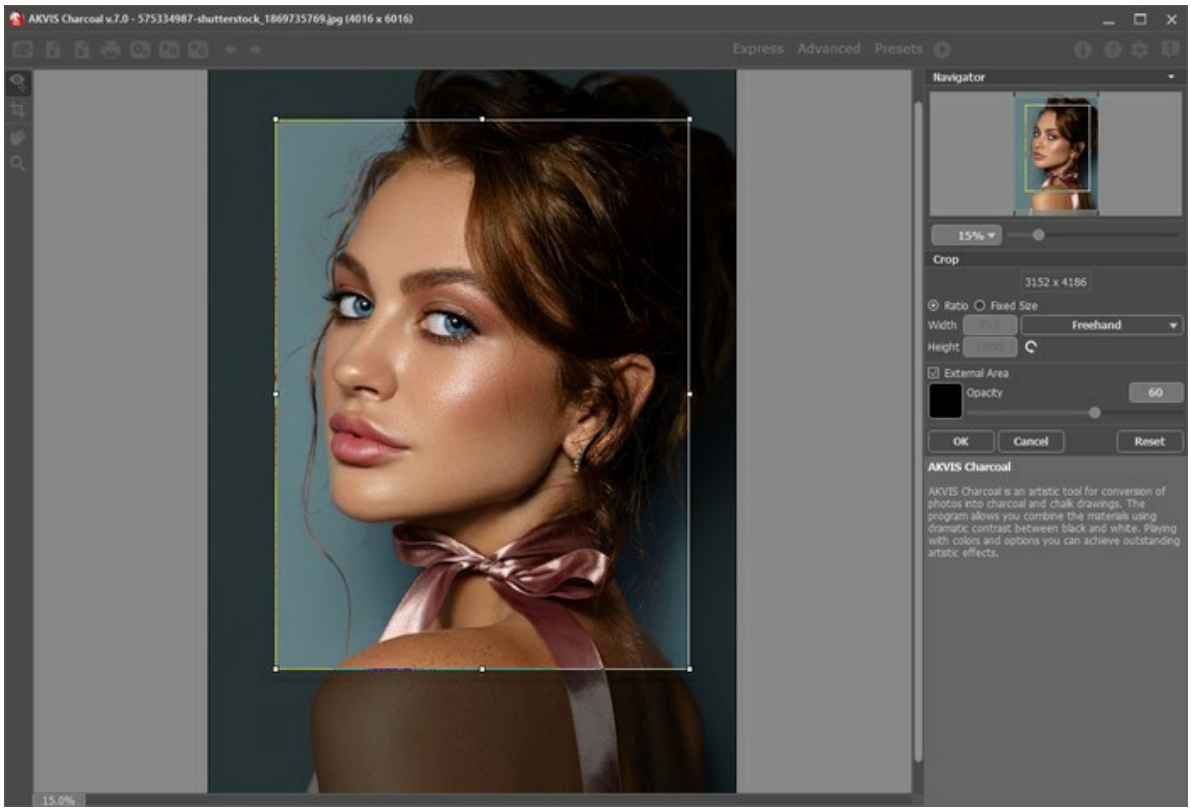
AliveColorsの場合、[効果] > [AKVIS] > [Charcoal]、
Adobe Photoshop と **Photoshop Elements** の場合、[フィルター]メニュー > [AKVIS] > [Charcoal]、
Corel PaintShop Proの場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [Charcoal]、
Corel Photo-Paintの場合、[効果] > [AKVIS] > [Charcoal]をそれぞれ選択します。

ステップ 2: ワークスペースの配置は、コントロール パネルで選択されているインターフェイス モード (簡易モード、詳細モード、プリセット) によって異なります。



AKVIS Charcoal ワークスペース (簡易モード)

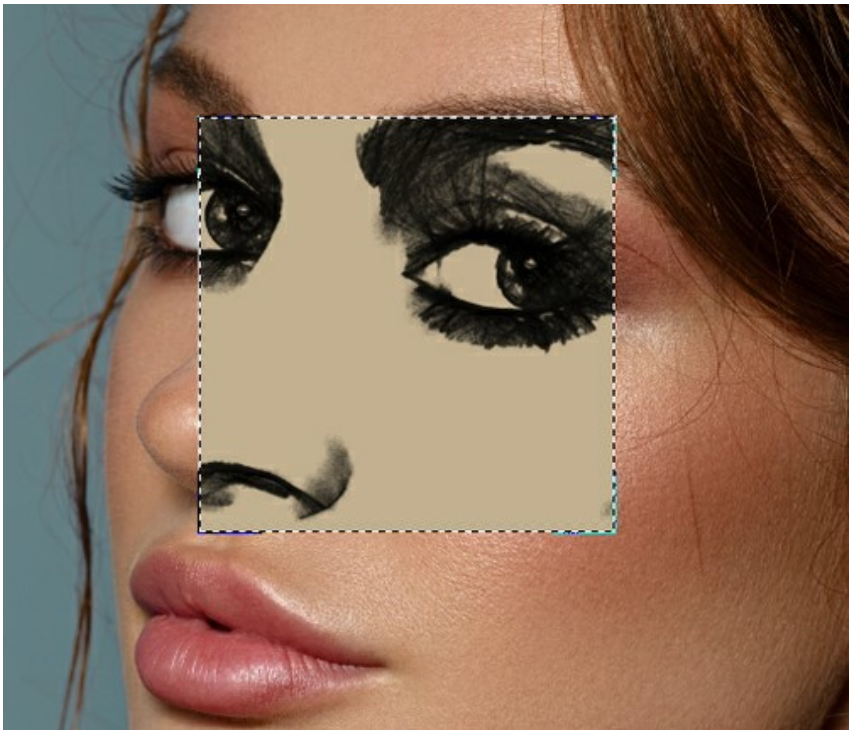
ステップ 3: 効果をスタンドアロン版で適用する前に、 切り取りツール を使って写真の一部を切り取って構成(バランス)を調整することができます。プラグイン版の場合、フォトエディターでこの作業を行えます。



切り取りツール

ステップ 4: ペイントタブにある効果の設定を調整します。すぐに利用可能な(選択するだけ)プリセットを使用するか、パラメーターを手動で変更します。

イメージの処理後の結果は、プレビュー ウィンドウ に表示されます。プレビュー ウィンドウは、ツールバーの ボタンが押されている場合、 **[処理前]**タブに表示されます。



プレビュー ウィンドウ

ステップ 5: 写真ン全体を木炭/チョーク画に変換する場合は、 ボタンをクリックします。

進捗バーが表示されるので、 アイコンでスナップショットを撮影し、**[停止]** ボタンで処理を中断します。

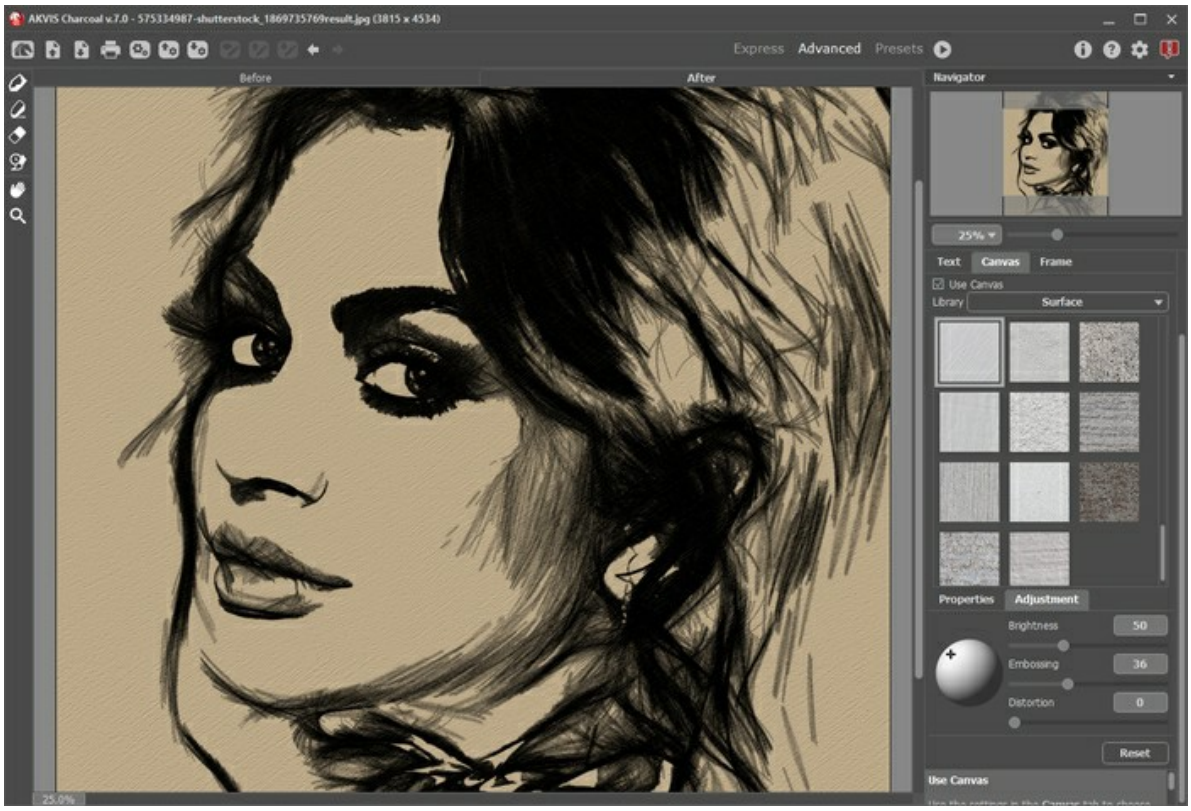
ステップ 6: ストロークの方向ツール を使用して、自動変換での処理結果を編集できます。

注意:この機能は、Home Deluxe と Business)でのみ利用できます。

ツールを使用して誘導ラインを描画し、 ボタンをクリックして再処理を行います。

ステップ 7: 実際の絵画のような印象を与えたり、視覚効果を追加したりするために、[装飾]オプション、**[キャンバス]**、**[フレーム]**、**[テキスト]**を使用することもできます。

ヒント:装飾効果の追加順は、タブの位置に対応しています。順番を変更するには、タブをドラッグします。



木炭/チョーク画 + キャンバス + テキスト

ステップ 8: 変更したパラメーターの設定を**プリセット**として保存し、後で使用できます。

プリセット名フィールド近くに表示されるハートのアイコン / をクリックすると、プリセットを[お気に入り]に追加、または[お気に入り]から削除することができます。

Charcoal プリセットの詳細はこちら。

ステップ 9: 処理中に、プログラムは、変換の様々な段階のショットを生成します。半分ほど処理されているスケッチ画からほとんど完成に近い状態まで様々です。メイン ウィンドウの下部の**タイムライン**に表示されます。タイムライン内の変換の様々な段階のショットは、どれでも、クリックするだけで選択できます。最後の画像が最終処理結果になります。

注意:この機能は、Home Deluxe版とBusiness 版でのみ利用できます。

タイムライン ショット

画像処理中のお気に入りの瞬間を**タイムライン**に追加するには、進捗バーの右にある ボタンを使ってスナップショットを撮影します。詳細はこちら。

ステップ 10: 最終仕上げを行うことのできる後処理ツール、**木炭** 、**チョーク** 、**消しゴム** 、**履歴ブラシ** を使って処理結果を編集できます。

注意:これらのツールは、Home Deluxe版とBusiness 版でのみ利用できます。

ヒント:後処理ツールは、最終段階でご利用ください。 ボタンで処理を再実行した場合、ブラシを使用した編集が失われる場合があります!

ステップ 11: スタンドアロン版では、 印刷 を行うこともでき、その場合は、 をクリックします。

木炭/チョーク画

ステップ 12: 処理したイメージを保存します。

スタンドアロン版で作業する場合:

をクリックすると、**[名前をつけて保存]**ダイアログボックスが開きます。使用可能なホットキーは、Windows の場合 Ctrl+S キー、Mac の場合 ⌘+S キーを押しながらクリックします。ファイル名を入力し、ファイルの種類（**TIFF**、**BMP**、**JPEG**、**PNG**、**WEBP**）を選択し、保存先フォルダーを選択します。

プラグイン版で作業する場合:

をクリックして結果を適用し、プラグイン ウィンドウを終了します。**AKVIS Charcoal** プラグインが終了し、画像がフォトエディターのワークスペースに表示されます。

[ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して**[名前を付けて保存]**ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行います。

木炭画/チョーク画

AKVIS Charcoal を使用すると、写真を木炭画やチョークで書いた絵に変換することができます。木炭を使用したスケッチは、非常に簡単かつ楽しい技法です。木炭とチョークを使って、表現力豊かな作品に仕上げることができます。

木炭 は、描画材料としてよく用いられるものの1つです。下書きのスケッチから完成された芸術作品まで、様々な作品を作り出すことができます。異なる材料の特長を上手に活かしながら、融合させることができます。木炭の持ち方次第で、細い鮮明なラインも幅の広いぼかしたラインも描画できます。

チョークの質感 (テクスチャ) や見た目は、パステル技法とよく似ています。チョークは、一般的に白いものが使われますが、明るい部分をハイライトしたり、アクセントを付けたり、ボリュームを加えたりするためにも使用できます。

両方のツールを上手に使えば、プロ仕様の白黒画像を作り上げることができるでしょう。さらに、色の設定を変えることにより、紅殻チョーク画やセピア調などの芸術的な効果を演出することもできます。

写真を木炭/チョーク画に変換

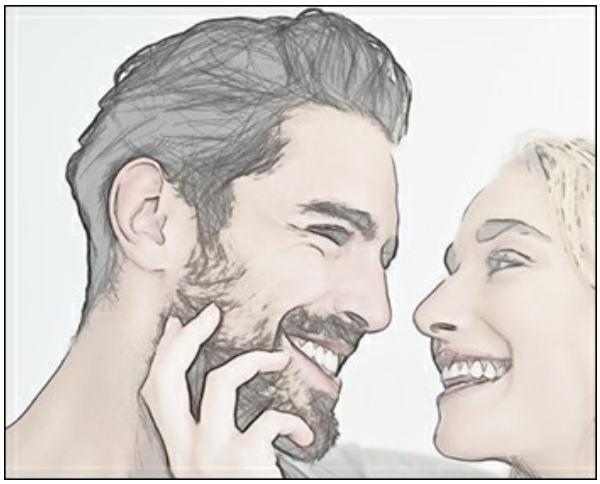
[ペイント] タブにある効果の設定を調整します。

元画像とのブレンド (0-100): 効果を元の画像と結合します。値が0 の場合、ブレンドは行われません。パラメータ-が高いほど、元の色が結果と混合されます。

元画像とのブレンド = 0

元画像とのブレンド = 50

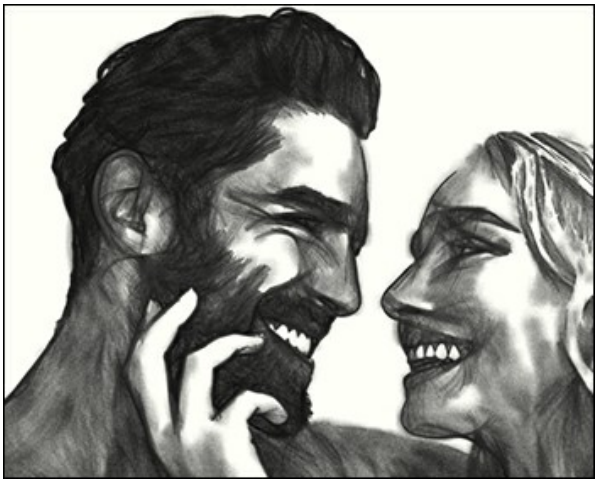
ブレンド モード: ブレンド方法を選択します。



通常

焼き込み（リニア）

紙の色: 背景の色を変更します。色パレットをクリックして色を選択するか、スポイトツールを使ってイメージ内から直接色を選択します。ダブルクリックすると、[色の選択]ダイアログが表示されます。

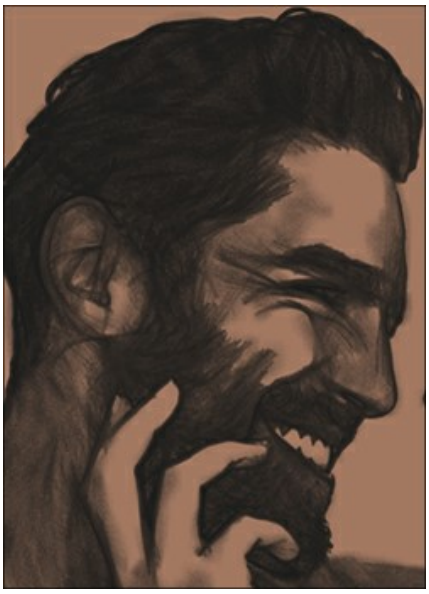


薄い色の紙

濃い色の紙

[木 炭]と**[チョーク]**チェックボックスの両方、またはいずれかをオンにして、使用する描画材料を選択します。

木炭/チョーク画



木炭画

チョーク画

カラーパレットで、使用する木炭やチョークの色を選択できます。

ここで指定した色は、後処理ツールの**木炭** とチョーク にも使用されます。

[ストローク]タブ:

ストロークの太さ (設定可能範囲は 10-100):このパラメーターはストロークの太さの最大値を設定します。幅は様々ですが、ここで指定した幅が最大値になります。

ストロークの太さ = 20

ストロークの太さ = 70

ストロークの長さの最大/最小 (設定可能範囲が 5-500): ストロークの長さの範囲を指定します。左のスライダーで表される最小の長さと右のスライダーで表される最大の長さの範囲内で様々な長さのストロークが表示されます。

ストロークの長さの最大/最小 = 5/20

ストロークの長さの最大/最小 = 50/150

ストロークの濃さ (設定可能範囲は 1-100): ストロークに使用される顔料の量 (濃さ) を調整します。値が高いほど、ストロークは濃い鮮やかな色になります。

密度 = 10

密度 = 60

ぼかし (設定可能範囲は 0-100): ぼかしやにじみの度合いを調整します。イメージに柔らかい印象を与えることができます。

ぼかし = 10

にじみ = 100

筆圧 (設定可能範囲は 1-100): ストロークの可視性を変更できます。低い値ではストロークは薄く、高い値ではストロークが濃くより強調されます。

筆圧 = 5

筆圧 = 50

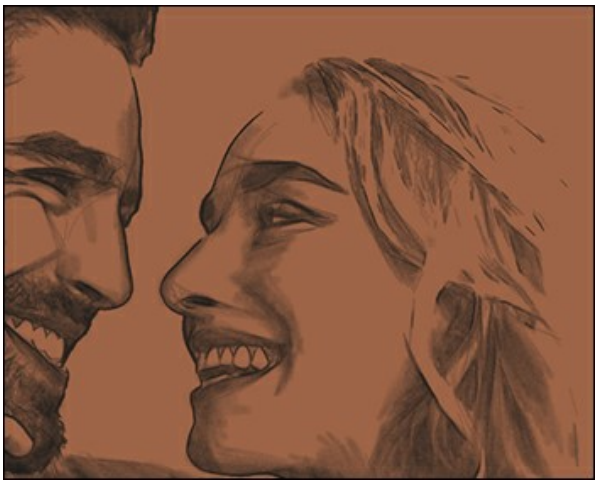
強度 (設定可能範囲は 0-100): ストロークの明るさやストロークをどれほど協調いするかを調整します。高い値では、シェーディング (影) が増加します。

強度 = 25

強度 = 75

[ハッチング]タブ:

影 (設定可能範囲は 0-100): 低い値では平面的なイメージになります。値を上げると、影に深みが出て、イメージはより立体的 (3D) になります。

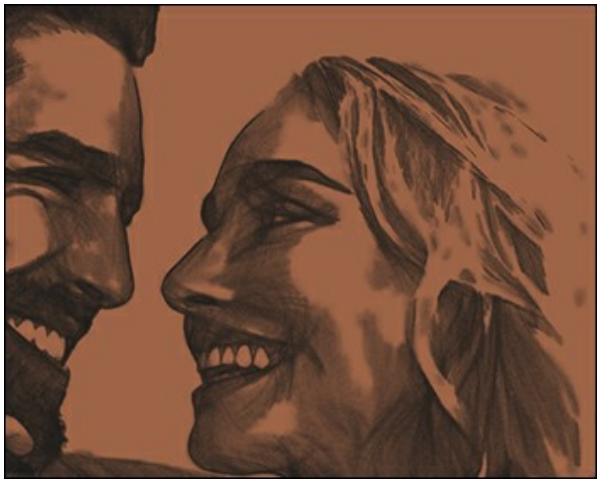


影 = 5

シャドウ = 50

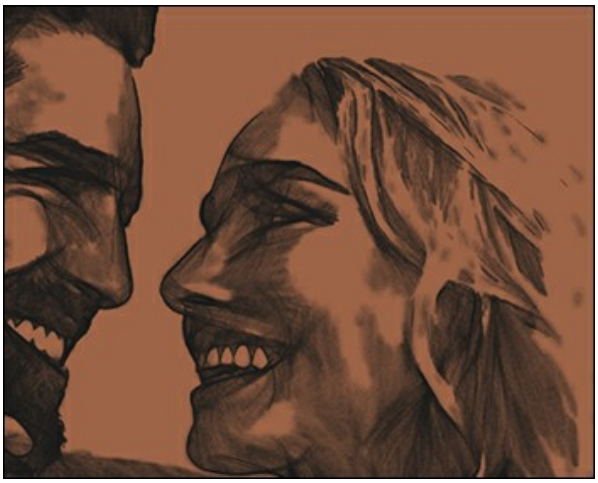
精密さ (設定可能範囲は 1-100): ストロークの精密さ/正確さを指定します。低い値では、イメージはぼやけたものになりますが、高い値では、ラインが鮮明でより多くのディテールが表示されます。

精密さ = 3

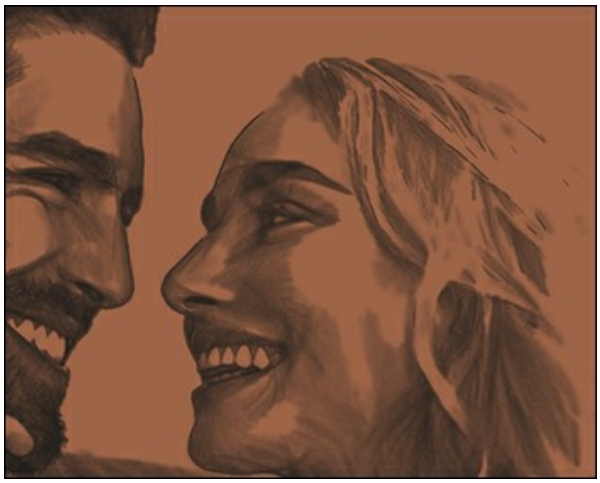


精密さ = 30

滑らかさ (設定可能範囲は 0-100): 値が大きいほど、ストローク間の遷移が滑らかになります。



滑らかさ = 0



滑らかさ = 100

配置 (設定可能範囲は 10-100): ストロークの位置を調整します。低い値ではストロークはランダムで無秩序に描画されますが、高い値では、より秩序正しく均等に描画されます。

配置 = 20

配置 = 90

感度 (設定可能範囲は 1-100): エッジの検出感度を設定できます。高い値では、輪郭線やディテールが多く表示されます。不要な線を取り除くには、値を下げます。

感度 = 40

感度 = 90

濃さ (木炭) (設定可能範囲は 1-100): 木炭のストローク数を調整します。

濃さ (木炭) = 10

濃さ (木炭) = 50

ハッチング (木炭) (設定可能範囲は 10-100): 木炭を使用して、影を表示させる領域を指定します。低い値では、最も濃い (暗い) 領域にのみ木炭での影が表示されます。値を上げると、明るい領域にも木炭のストロークが表示されるようになります。

ハッチング (木炭) = 25

ハッチング (木炭) = 75

濃さ (チョーク) (設定可能範囲は 1-100): チョークのストローク数を調整します。

濃さ (チョーク) = 1

濃さ (チョーク) = 30

ハッチング (チョーク) (設定可能範囲は 10-100): チョークを使用して、影を表示させる領域を指定します。低い値では、最も濃い (暗い) 領域にのみチョークでの影が表示されます。値を上げると、明るい領域にもチョークのストロークが表示されるようになります。

ハッチング (チョーク) = 20

ハッチング (チョーク) = 70

タイムライン

AKVIS Charcoal では、写真が木炭/チョーク画に変換される様子を、リアルタイムで観察できます。処理中に、プログラムは、変換の様々な段階のショットを生成します。半分ほど処理されているスケッチ画からほとんど完成に近い状態まで様々です。設定を変えることなく、様々なバリエーションの絵を作成でき、その中から選ぶことができます。

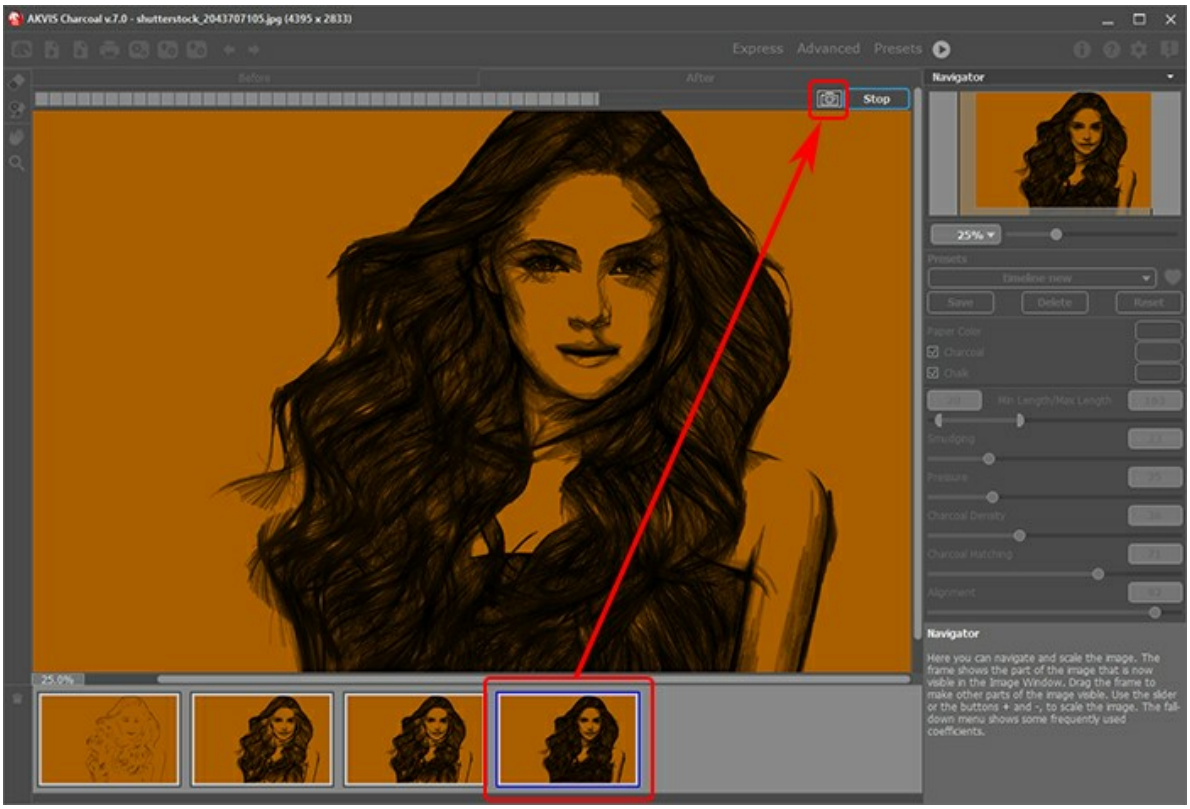
タイムライン は、メイン ウィンドウの下に表示されます。

AKVIS Charcoal

注 意:タイムライン 機能は、 **Home Deluxe** と **Business** ライセンスのユーザーのみが利用できます。これらのライセンスをお持ちでない **Home** ライセンスのユーザーであっても、進捗バーの **[停止]** ボタンをクリックすることにより、途中まで処理された状態のものを取得できます。

写真の変換の開始は、 ボタンをクリックします。処理の過程で、ウィンドウの下部には、何枚ものショットが表示されます。

お気に入りの瞬間のスナップショットを撮るには、進捗バーの右側ある ボタンを使用します。ボタンをクリックすると、その瞬間のショットが一覧に追加され、青い枠で囲われます。



イメージの処理

進捗バーの **[停 止]** ボタンをクリックすると、処理は中断されます。

タイムライン 内のショットを確認し、お気に入りのショットを探してください。最終結果に戻りたい場合は、一覧内の最後のショットをクリックします。

多岐にわたるバリエーション

パラメーターを変更して、再度処理を実行すると、**タイムライン** はリセットされ、新しいショットが表示されます。お気に入りのショットなどは、ダブルクリックして、ピン留めすることにより、保存できます。選択したショットの右上にアイコン が表示されます。

ショットを切り替えたり、設定をかえって処理を再実行したりしても、ピン留めしたものは一覧に残ります。ピン留めを解除するには、ダブルクリックします。

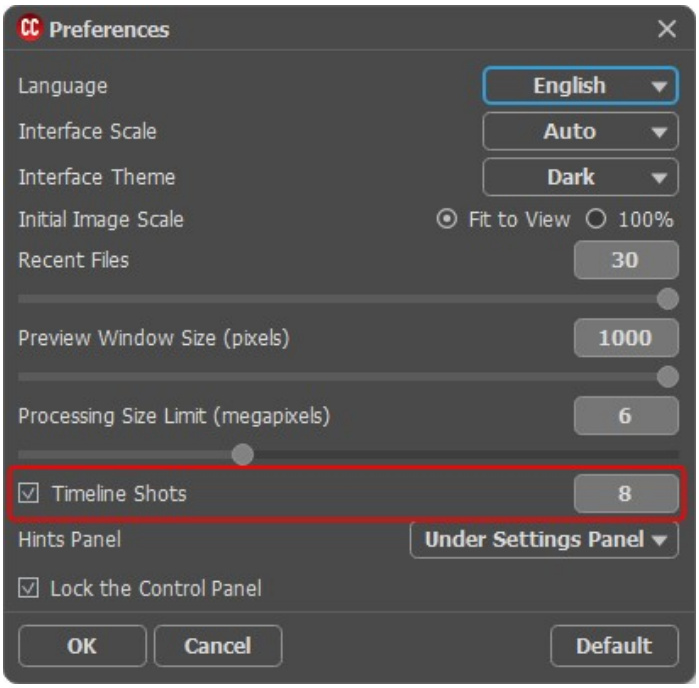
スナップショットを削除するには、**タイムライン**内で該当するショットを選択し、 をクリックします。

注 意: ピン留めしたショットはこのボタンで削除できません!
プログラムに新しいイメージを読み込むと、ピン留めしたものも含め、すべてのショットが削除されます。

注 意:

後処理ツール 、 、 、 、使用後にタイムライン内の別のイメージに切り替えた場合、それらのツールでの変更はすべて失われます。処理結果に新しい名前を付けて、作業を続けることができます。

タイムライン の表示/非表示の切り替えは、プログラムの環境設定 で行えます。**[タイムラインショット]** オプションが有効な場合、処理中に何枚のショットを生成するかを設定することができます。



プログラムの環境設定

ツールとそのオプション

AKVIS Charcoalでは、アクティブなタブ、 **[処理前]** または **[処理後]**タブによって表示されるツールは異なります。

[処理前]タブ選択時のツールバー

[処理後]タブ選択時のツールバー

プログラム内のツールはグループ分けされています。事前処理 ([処理前]タブ)、 後処理 ([処理後]タブ)、 追加 ツール ([処理前]と[処理後] タブ)。

ヒント: ← と → のボタンを使用して、 ツールでの操作のやり直し/取り消しができます。

事前処理ツール ([処理前]タブ):

クイック プレビュー プレビュー ウィンドウのオン/オフ(表示/非表示)を切り替えます。プレビュー ウィンドウとは、点線で囲われた四角の枠で、**[ペイント]**や**[装飾]** タブで加えられた変更を表示します。

マウスクリックまたはダブルクリックによって、プレビュー ウィンドウの位置を自由に動かすことができます。これにより、効果のプレビューをイメージの様々な部分で確認することができます。自動変換の結果と元のイメージを比較するには、プレビュー ウィンドウでマウスをクリックしたままにします。

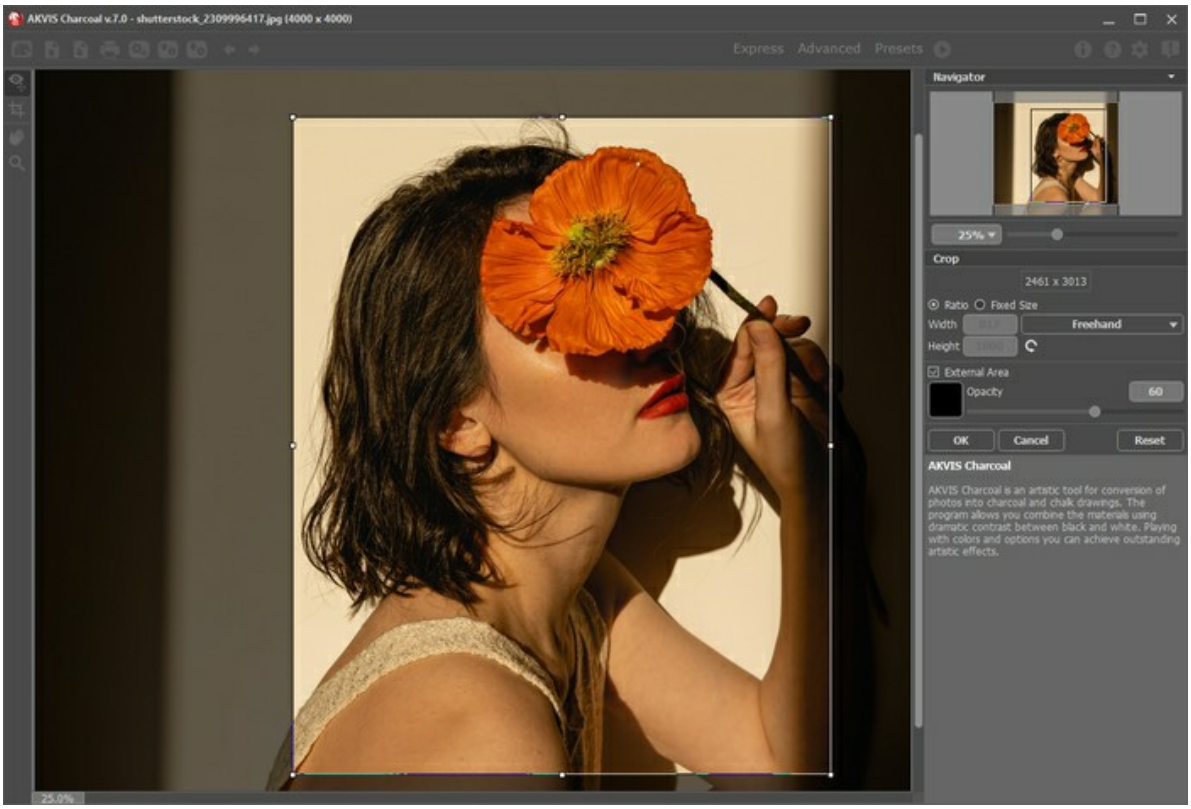
プレビュー ウィンドウ

プレビュー ウィンドウのサイズの変更は、プログラムの 環境設定 で行うことができます。

切り取りツール (スタンドアロン版のみ) を使って、イメージ内の不要な部分を切り取ることができます。このツールは、イメージの構成を変更したい場合、曲がった写真を修整したり、縦長の写真を横長にしたり、その逆を行ったりするのに便利なツールです。

切り取りは、フレームの枠や角をドラッグして行うことができます。

結果を適用して、フレーム外の部分を切り取るには、[OK]をクリックするか、Enterキーを押します。操作をキャンセルして終了するには、[キャンセル]をクリックするか、Escキーを使用します。ツールを有効にしたまま、元の状態に元すには、[リセット]ボタンを押します。



イメージの切り取り

切り取りオプションを調整します。

切り取り枠の長方形のサイズ指定には、**[比率]**または**[固定サイズ]**オプションを使用します。

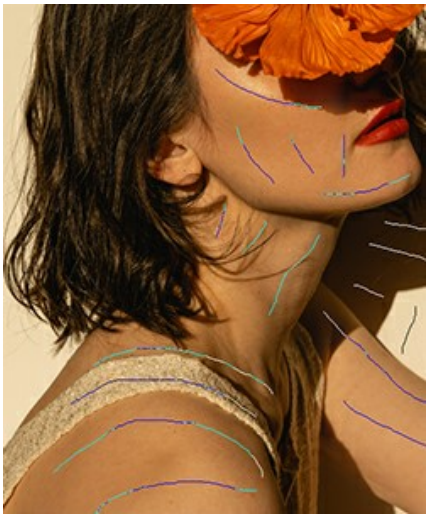
[除外領域]チェックボックスがオフの場合、外側の部分の色と不透明度を変更できます。

ストロークの方向ツール を使うと、ストロークを自由にコントロールできるようになります。この技術により、全体の模様やテキストの方向が正しく修正され、本物のスケッチにより近い作品を作り出すことができます。

注意: このモードは、Home Deluxe版と Business版でのみ利用できます。

このツールを使って、誘導ラインを追加すると、プログラムはその方向に従って処理をしなおします。プレビューウィンドウ内に変更が表示されます。画像全体の処理を再開するには、 をクリックします。

自動変換時のブラシストローク



誘導ライン

方向の変更

ヒント: このツールで作成した誘導ラインの 保存 、読み込み もできます。

読み込んだ誘導ラインは、自動的にイメージのサイズに適用されます。

消しゴム は、**ストローク方向** ツール で描いた誘導サインの編集と削除を行います。消しゴムのサイズは、イメージを右クリックして変更できます。

後処理ツール (Deluxe/Business版の[処理後]タブ)

注意: 後処理ツール 、 、 、 は、Home Deluxe/Business ライセンスの **[処理後]** タブでのみ利用できます。**最終処理段階で使用します**。処理を再実行した場合 、後処理ツールを使用した編集が失われる場合があります!

各ツールのオプションは、イメージを右クリックすると表示されるポップアップメニューに表示されます。

木炭 と **チョーク** ツールを使用することで、手作りのような効果を強めることができ、[効果]設定を指定した色を使って柔らかいタッチのストロークを描くことができます。

サイズ (設定可能範囲は 5-200): ツールを使用して描く線の幅の最大値を指定します。

強度 (設定可能範囲は 1-100): ツールが与えるインパクトの度合いを調整します。

元のイメージの表示 (設定可能範囲は 0-80): 値を上げると、元のイメージが効果の間から見えるようになります。このパラメーターは補助的なもので、ツールを使用してより正確な描画を行うために役立ち、結果に影響を与えることはありません。

木炭/チョーク効果

ツールの使用

消しゴム は、プログラムが描画した木炭/チョークのラインと ツールを使用して描画した木炭/チョークのラインの両方を消します。

サイズ (設定可能範囲は 1-1000): 消しゴムツールの透明なラインの幅をピクセルで指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ブラシのエッジ (背景との境界部分) によるぼかしの程度を指定します。値が大きいほど境界部分はより鮮明になります。100% に近い値の場合、消しゴムツールを利用した領域と利用していない領域の境界がはっきり分かれて見えますが、低い値の場合、境界はぼやけてはっきりしなくなります。

強度 (設定可能範囲は 1-100): ツールを適用する強度を指定します。値が高いほど、消しゴムツールの影響が大きくなり、背景が見えにくくなります。

元のイメージの表示 (設定可能範囲は 0-80): 値を上げると、元のイメージが効果の間から見えるようになります。このパラメーターは補助的なもので、ツールを使用してより正確な描画を行うために役立ち、結果に影響を与えることはありません。

木炭/チョーク効果

消しゴムの使用

履歴ブラシ は、木炭やチョークの効果を弱め、画像を元の状態や処理直後の状態にレストアします。ツールのモードを選択できます。すべての変更を編集するか、ツールの効果のみを維持するかを選びます。

ツールのパラメーター:

サイズ (設定可能範囲は 1-1000): ブラシで引くラインの幅を指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ツールのエッジ部分の鮮明度を調整します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしがかかったものになります。値が 100% の場合、ブラシのエッジと背景の境界がくっきり分かれますが、もっと低い値の場合は境界部分の色の移行がよりスムーズになり、ぼかしが強くなります。

強度 (設定可能範囲は 1-100): オリジナルの状態へのレストア度合いを指定します。低い値の場合はレストアがあまり行われず、適用した効果と馴染みますが、100% に近い値の場合はオリジナルの画像に完全にレストアされます。

[元のイメージにレストア]チェックボックス: このチェックボックスがオンの場合、絵の効果や後処理ツールの効果を弱めます。チェックボックスがオフの場合は、これらのブラシの編集部分にのみ適用 (レストア) され、画像処理結果には適用されません。

ツール使用前

履歴ブラシの使用

その他のツール (両方のタブで利用可能、すべてのライセンス対応):

手のひらツール は、画像を動かしてイメージウィンドウに表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。この操作に対するホットキーは、H キーです。

ツールバー上にあるツールのアイコン をダブルクリックすると、イメージはウィンドウに合わせたサイズで表示されます。

ズーム ツール を使って画像の拡大/縮小を行います。クリックすると、ズームイン (拡大) します。クリックしながらAlt キーも押すと、ズームアウトします。この操作に対するホットキーは、Z キーです。

ツールのアイコン をダブルクリックすると、イメージが 100% の倍率 (実際の大きさ) で表示されます。

キャンバスに描く木炭/チョーク画

このソフトウェアを使用した場合、**どんな表面**にでも描画できます。サンドペーパー、レンガの壁などどこにでも描画できます。

[装飾]グループの**[キャンバス]**タブに切り替え、**[キャンバスの使用]**チェックボックスをオンにしてください。

ヒント:装飾効果の適用順を変更するには、**[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト]**の各タブをドラッグして入れ替えます。

キャンバスの使用

テクスチャの選択は、**[ライブラリー] > [表面]**から選択するか、手持ちのサンプルを**[ライブラリー] > [ユーザー定義...]**から読み込みます。

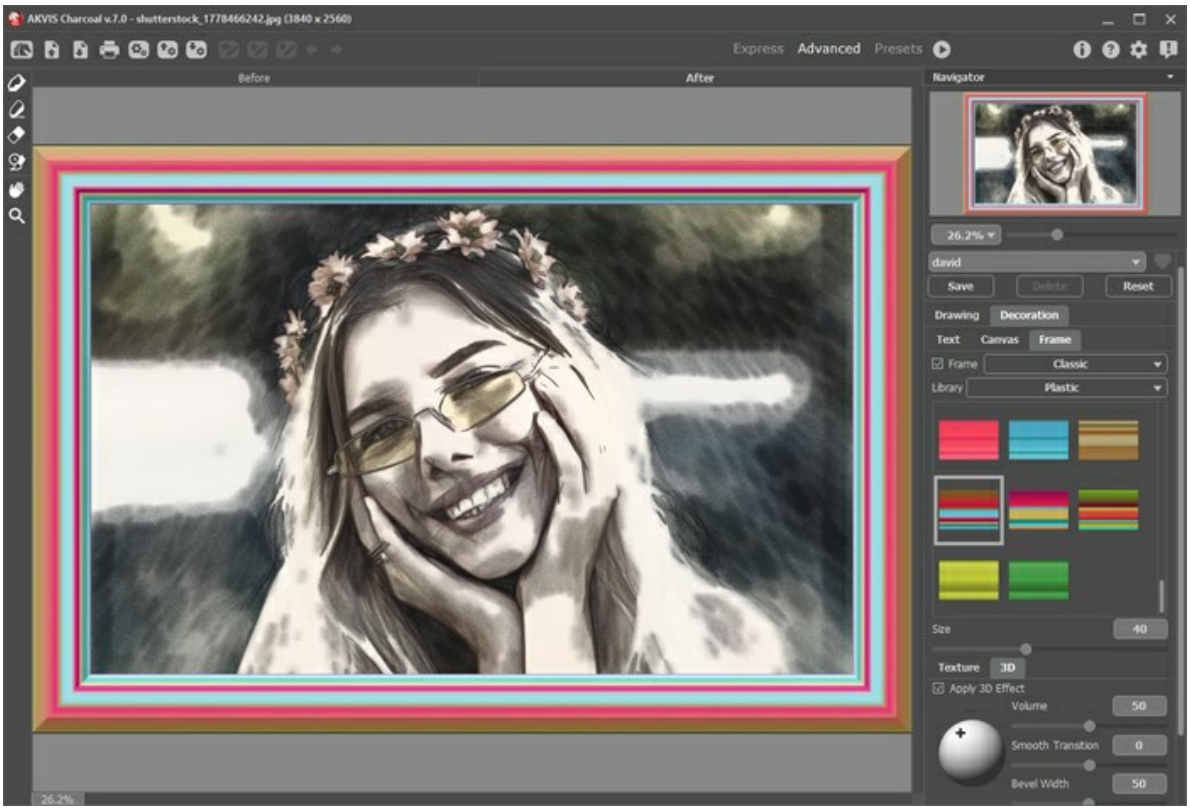
キャンバス設定の調整(AKVIS社 Webサイト上の英語チュートリアル)

フレームを挿入

AKVIS Charcoal では、木炭/チョーク画にフレームを追加することもできます。

[装 飾]グループの**[フレーム]**タブに切り替え、[フレーム]チェックボックスをオンにし、希望のフレームとテクスチャを選択します。

ヒント:装飾効果の適用順を変更するには、**[キャンバス]**/**[フレーム]**/**[テキスト]**の各タブをドラッグして入れ替えます。



フレームの適用

適用できるフレームの種類:

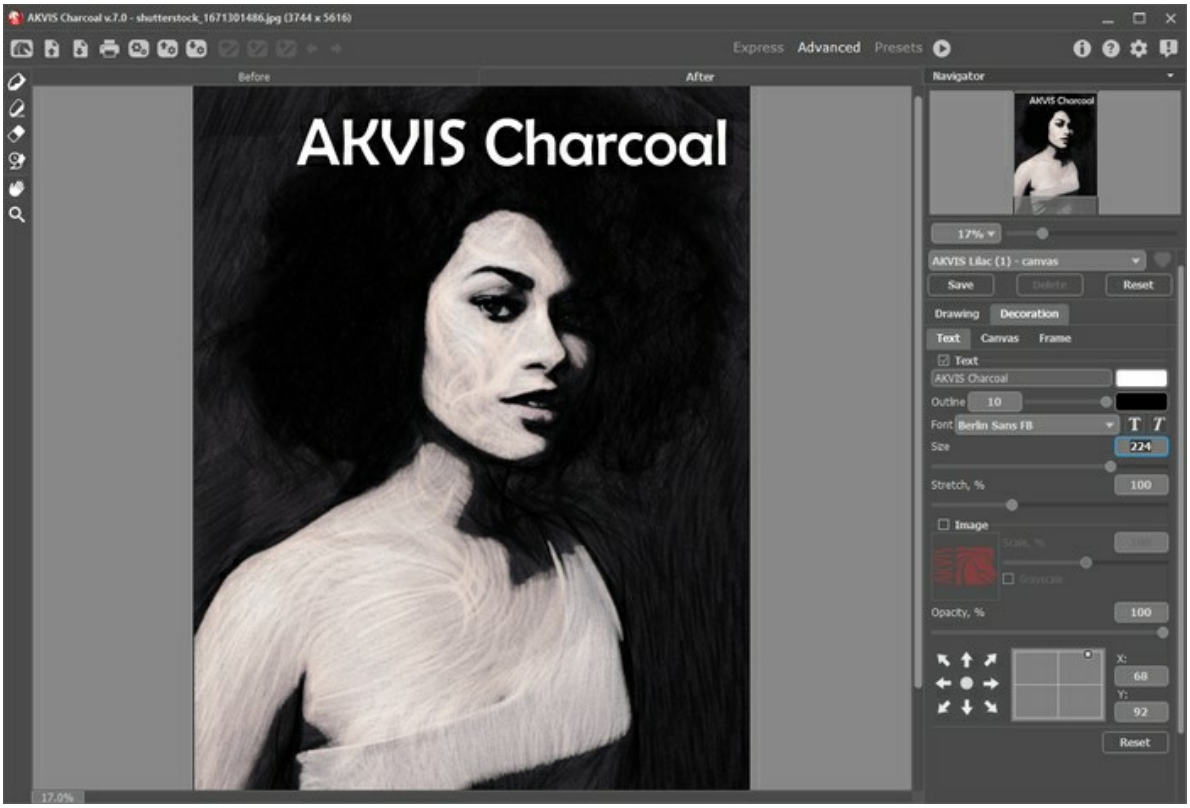
- クラシック
- パターン
- ストローク
- ビネット
- 台 紙

テキストやウォーターマークを追加

AKVIS Charcoalでは、署名、ロゴ、ウォーターマークを追加することで、オリジナルの作品に仕上げることができます。

[装 飾]グループの**[テキスト]**タブに切り替え、**[テキスト]**または**[イメージ]**のいずれかのモードを有効にします。

ヒント:装飾効果の適用順を変更するには、**[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト]**の各タブをドラッグして入れ替えます。



テキストの挿入

画像にどんなテキストでも追加できます。

テキスト/ウォーターマークの設定を調整(AKVIS社の Webサイトのチュートリアルに移動)。

木炭/チョーク効果プリセット

AKVIS Charcoal は、木炭やチョークで描画する技法を模倣します。プログラムには、すぐに使える**プリセット** (設定のコンビネーション) が用意されており、作業を始めるのに役立ちます。ドロップダウン リスト内の AKVIS プリセット名の上にカーソルを移動させると、リストの横に小さなウィンドウで適用した場合のサンプルが表示されます。プリセットは、そのまま適用することも、微調整を行って適用することもできます。

プリセットには、すべての設定が含まれています。プリセットを指定してイメージを処理するには、一覧から目的のプリセットを選択して、 をクリックします。

AKVIS プリセットのいずれかを適用するか、パラメーターを希望の結果になるように変更することができます。

プリセットを作成するには、パラメーター設定を調整し、プリセット名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

選択したプリセットをデフォルト設定に戻すには、[リセット]をクリックします。

プリセットを削除するには、一覧から目的のプリセットを選択し、[削除]クリックします。AKVIS ビルトイン プリセットは削除できません。

プリセットを**お気に入り**に追加するには、プリセット一覧の右側に表示される をクリックします。選択したプリセットの横に、赤いハートのマーク が表示されます。

プリセット ギャラリー

トップパネルの[プリセット]をクリックすると、リアルタイムの大まかなプレビュー表示を含むプリセットの視覚表示モードに切り替えることができます。

プリセット ギャラリー

プリセットの一覧がアルファベット順 (AKVIS プリセット) または作成日順 (ユーザー プリセット) に表示されます。プログラムにイメージを読み込むと、プリセット サムネイルが生成されます。

サムネイルをクリックしてプリセットを選択します。サムネイルをダブルクリックすると、イメージ全体への処理を開始します。

ユーザー プリセットのプリセット名をダブルクリックすると、名前を変更できます。AKVIS ビルトイン プリセットの名前は変更できません。

次のボタンで、プリセットの表示方法を変更できます。

- **AKVIS プリセット**を表示

- **ユーザー プリセット**を表示

- **お気に入り**に追加されているプリセットを表示

プリセット サムネイルの配置は二通りあります。

- 縦一列の一覧表示
- プログラム領域全体にサムネイル表示

プリセットのコントロール ボタンは、コンテキスト メニューのコマンドとしても表示されます。

お気に入りに追加 / **お気に入りから削除**

プリセットの名前を変更 (ユーザー プリセットのみ)

上に移動 (ユーザー プリセットのみ)

下に移動 (ユーザー プリセットのみ)

プリセットを削除 (ユーザー プリセットのみ)

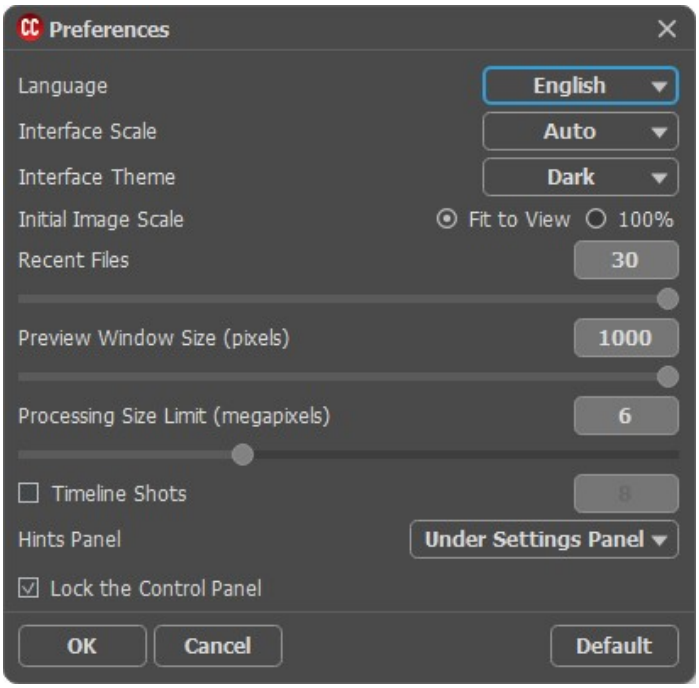
パラメーターを表示

プリセットを **.charcoal** ファイルに保存するには、 を使用します。ファイルからプリセットを読み込みには、 を使用します。

ユーザー プリセットのインポート/エクスポート方法の詳細はこちらを参照ください。

プログラムの環境設定

[環境設定]ダイアログボックスを開きます。



- **言語**:ドロップダウンメニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**:インターフェイス要素のサイズを選択します。**自動**に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ**:インターフェイスのテーマを選択します。**ライト (明るい)** または **ダーク (暗い)** の 2種類のテーマがあります。
- **初期の比率**:このパラメーターは、読み込んだイメージをメイン ウィンドウで表示(拡大/縮小)する方法を設定します。

  - **画面にあわせる**:イメージ全体が表示されるように、拡大/縮小率が調整されます。
  - **100%**: 実際のサイズが使用され、イメージの拡大/縮小は行われません。

- **プレビューウィンドウサイズ**:プレビュー ウィンドウのサイズを 400x400 ピクセルから1000x1000 ピクセルの間で自由に設定できます。
- **処理サイズ制限**:イメージの処理は非常に時間のかかる操作です。このパラメーターは、処理するイメージのサイズを一時的に減らすことによって、イメージの処理速度を速めることができます。ファイルサイズ(メガピクセル単位)が設定値以下の場合、イメージは通常通りの処理が行われます。読み込んだファイルサイズが設定値より大きい場合、イメージのサイズを一時的に減らして処理を行った後に、元のサイズに戻します。
- **[処理サイズの表示]**チェックボックス: チェックボックスがオンの場合、処理画像のサイズが、[処理前/処理後]タブに表示されます。パラメーターの有効/無効は、保存される結果のサイズに影響しません。
- **タイムライン ショット**:このオプションを使って、 タイムラインの表示を変更できます。チェックボックスがオンの場合、イメージ処理中に作成されるショット数を変更できます。
- **ヒント パネル**:ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。

  - **イメージ ウィンドウの下**
  - **設定パネルの下**
  - **非表示**

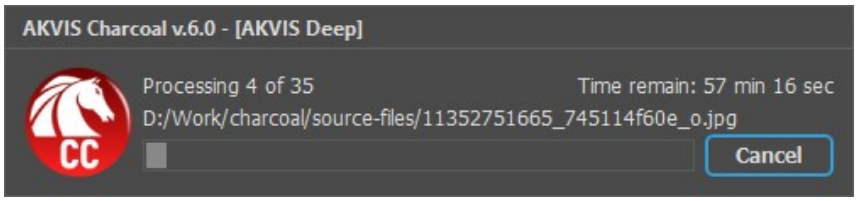
- **最近使ったファイル** (スタンドアロン版のみ):最近使ったファイルの表示数を指定します。時間でソートされた使用ファイルの一覧は、 を右クリックすると表示されます。最大数:設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **[OS 指定のダイアログボックスを使用]**:チェックボックスがオンの場合は、システムの[開く]/[保存]ダイアログボックスが使用されます。チェックボックスがオフの場合は、デフォルトのAKVIS File Dialog が使用されます。
- **コントロールパネルを常に表示**: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。このチェックボックスがオンの場合、パネルは常に表示されます。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を適用するには、**[OK]**をクリックします。

既定値に戻す場合は、 **[既定値]** をクリックします。

バッチ処理

AKVIS Charcoal がサポートしている **バッチ処理** 機能は、同じ設定で一連の(複数の)画像を自動的に変換することができ、時間と労力の節約になります。バッチ処理は、パンフレットに同じスタイルのイラストをたくさん作成する場合やビデオのすべてのフレームを処理する場合に便利です。



これまでに、バッチ処理機能を使ったことがないとしても、操作方法は簡単に覚えられます。

AKVIS Charcoal のスタンドアロン版をご利用の場合は、こちらの手順をご覧ください。

Charcoal のプラグイン版を Photoshop で使用する場合、こちらのチュートリアルをご覧ください。

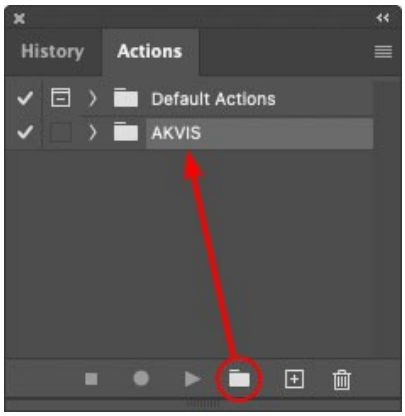
バッチ処理: プラグイン

AKVISバッチ処理を使うと、複数のファイルに自動的にプラグインを適用することができます。

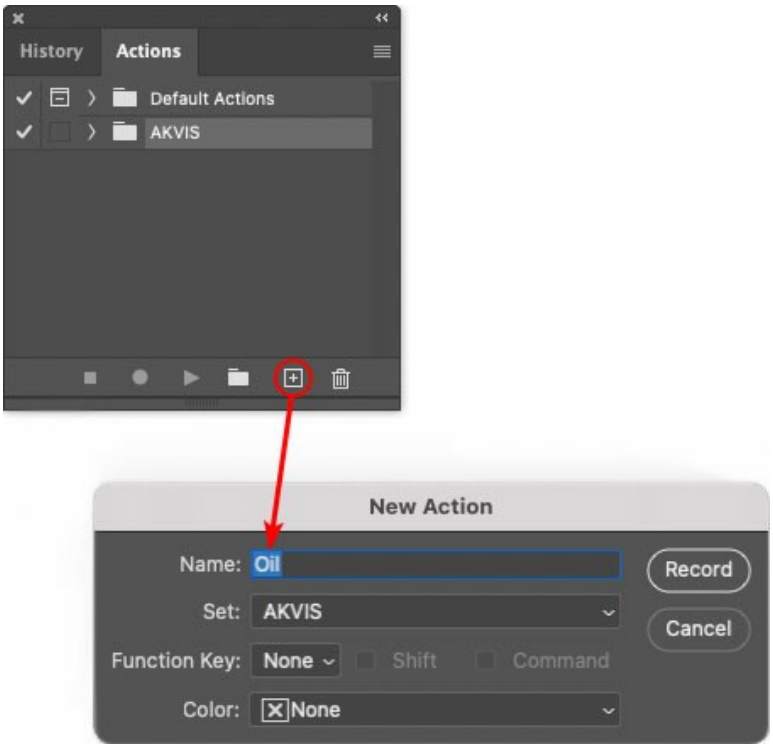
複数のファイルにプラグインを適用するには、まず、**[バッチ処理]**コマンドを使って**アクション**を作成しておき、そのアクションをイメージが保存されているフォルダに適用します。アクションには複数のコマンドを記録することができるため、一度に大量のイメージを処理できます。

ステップ 1: ハードディスクに'source-files'と'result-files'の2つのフォルダを作成します。
ステップ 2: 'source-files'フォルダのフレームを1つ選び、**Adobe Photoshop**で開きます。

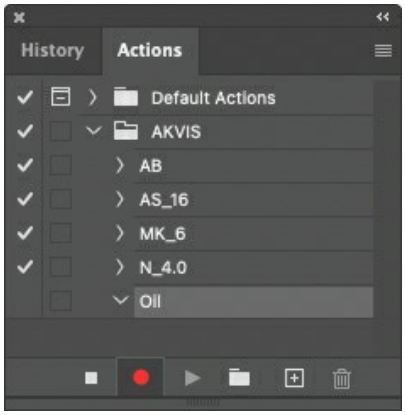
ステップ 3 : **[アクション]**パレットを開き、**[新規作成]**ボタンをクリックします。表示されるウィンドウにて、新規アクションセットの名前を設定します(例: **AKVIS**)。



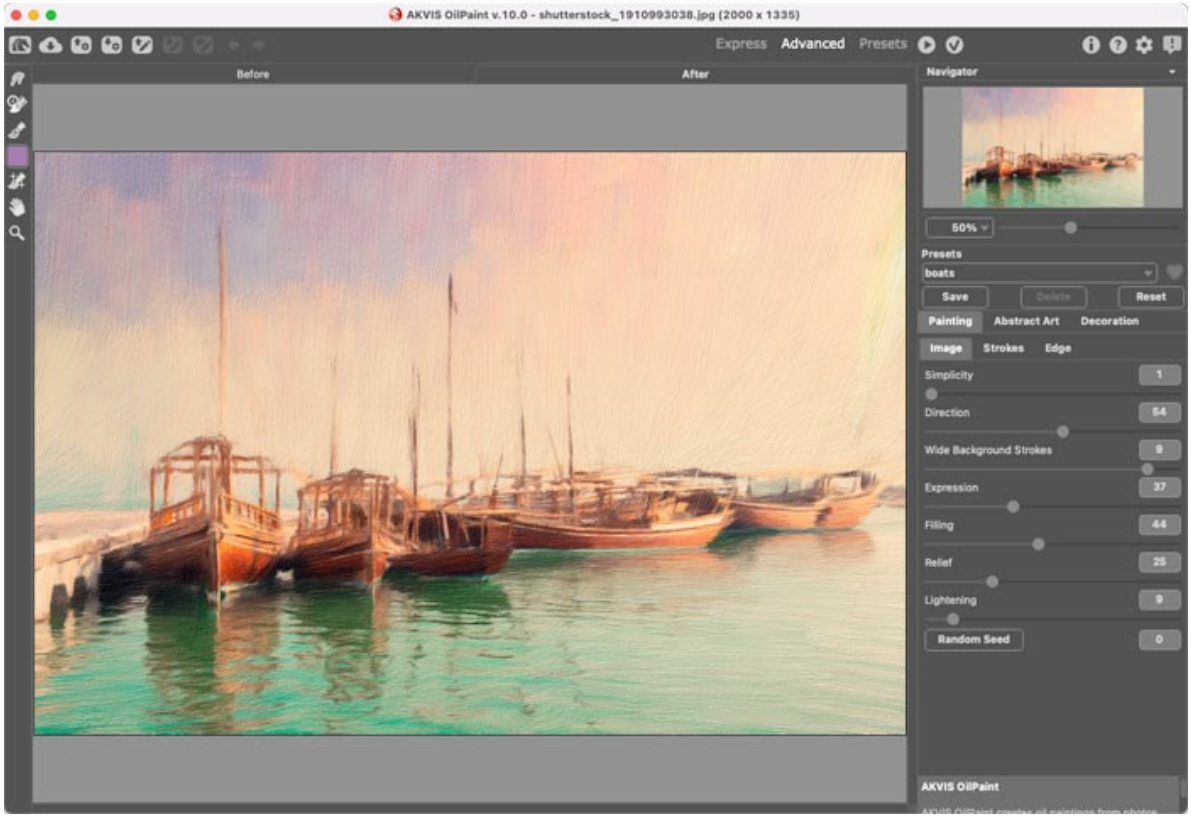
ステップ 4: パレット下部の**[アクションの新規作成]**ボタンをクリックします。表示されるウィンドウにて、アクション名を設定します(例: **Oil**)。



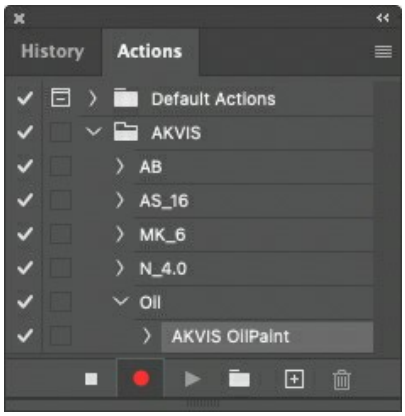
[記 録]ボタンをクリックしてアクションの記録を開始します。



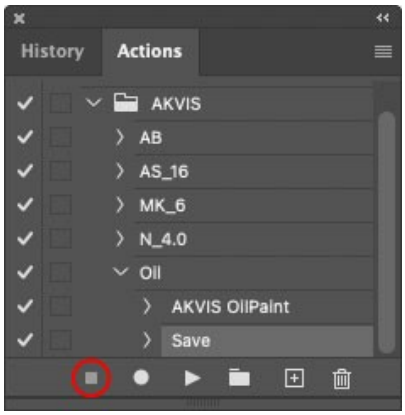
ステップ 5: AKVISを呼び出し、最適なパラメータ設定を行います。



ステップ 6: をクリックして適用します。

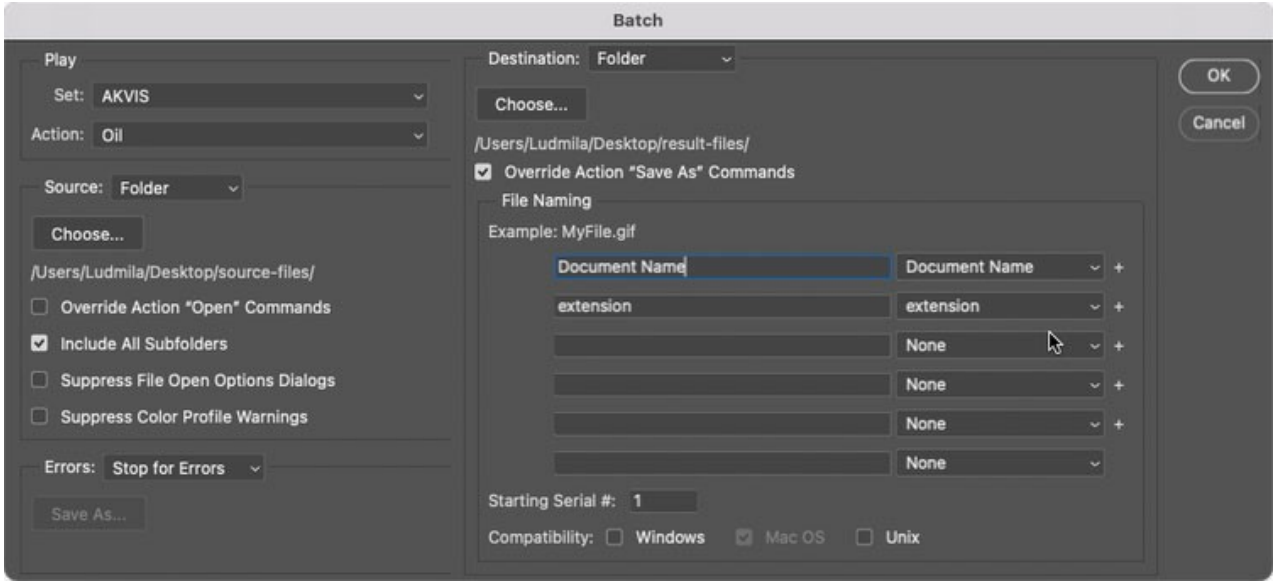


ステップ 7: **[ファイル]**メニューから**[名前を付けて保存]**をクリックし、'result-files'フォルダにイメージを保存します。
ステップ 8: **[アクション]**パレット下部の**[停止]**ボタンをクリックしてアクションの記録を停止します。



ステップ 9: イメージを閉じて、'result-files'フォルダに保存したばかりのファイルを削除します。
ステップ 10: アクションが作成されたので、ビデオフレームのバッチ処理ができるようになりました。エディタの**[ファイル]**メニューから**[自動] > [バッチ]**コマンドを選択します。
ステップ 11: 表示される**バッチ**ウィンドウ内のすべてのデータと設定を割り当てます。
[セット]フィールドで"AKVIS"を選択し、**[アクション]**フィールドで"Oil"を選択します。
[ソース]フィールドはイメージのソース選択に使用します。**フォルダ** エントリ(特定のフォルダをソースとして指定できます)を指定します。フォルダの**[選択]**をクリックし、'source-files'フォルダを指定します。

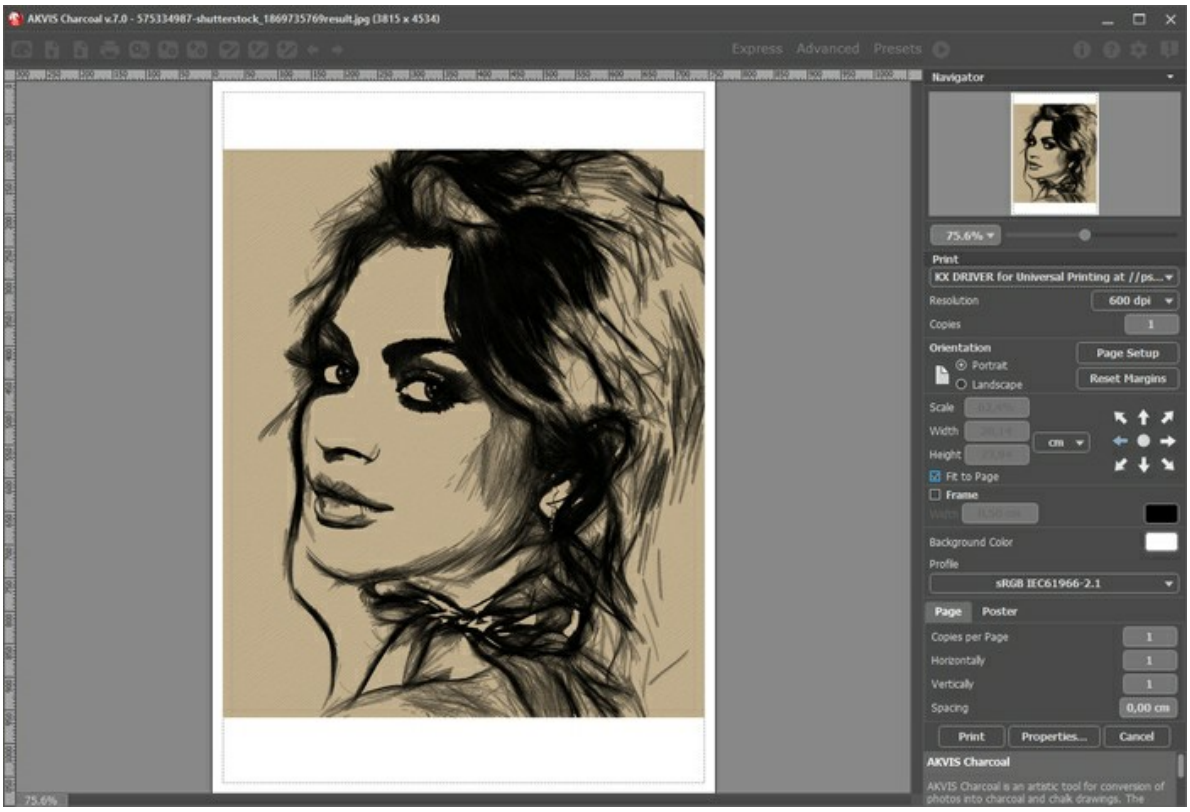
[ファイルを開く]コマンドをアクションに記録しない場合は、**["開く"コマンドを無視]**チェックボックスをオフにしてください。
[保存先]フィールドで**フォルダ** エントリを指定し、**[選択]**をクリック後、'result-files'フォルダを選択します。
["名前を付けて保存"コマンドを省略]オプションをオンにします。
[ファイル名]では、処理後のイメージの名前変更方法を設定します。名前を変更しない場合は、最初のフィールドで**ドキュメント名**を指定し、2つ目のフィールドで拡張子を指定します。



ステップ １２： **[バッチ]**ウィンドウの**[OK]**ボタンをクリックします。これで、**Photoshop**は'source-files'フォルダ内のフレームを1つづつ処理し、'result-files'フォルダに保存していきます。1つのファイルの処理には約18秒かかり、591フレームで構成されたビデオ全体の処理には約3時間かかります。

印刷

AKVIS Charcoal のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。 を押すと **[印刷]**オプションが表示されます。



AKVIS Charcoal での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

[印刷の向き]では、紙の方向を設定します。**[縦]**または**[横]**から選択します。

[ページ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

[余白のリセット]をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**[比率]**、**[幅]**、**[高さ]**、**[ページに合わせる]**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、[比率]に値を直接入力するか、**[幅]**と**[高さ]**に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、**[ページに合わせる]**チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

[枠]を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、**[背景色]** を変更できます。

[ページ]タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。

- **[割り付け]**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **[水平方向]** と **[垂直方向]**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **[間隔]**: イメージ同士の間隔を指定します。

[ポスター]タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。

ポスター印刷

- **[ページ]**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。

チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **[のりしろ]**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **[切り取り線]**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **[ページ番号の表示]**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**[印刷]**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

[プロパティ...]ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

木炭画スケッチ

木炭 は、ほんの数ストロークでも、素敵なスケッチが描ける、簡単で無限の表現力を秘めている材料です。

AKVIS Charcoal を使えば、写真を簡単に木炭でのスケッチに変換することができます。

以下に、写真を木炭でスケッチした絵に変換する方法を紹介します。

ステップ 1: AKVIS Charcoalで、事前定義済みプリセットを選択するか、 [効果]設定を調整します。変更は、即座に適用され、プレビュー ウィンドウに表示されます。

ステップ 2: をクリックし、イメージ全体の処理を開始します。**タイムライン**には、処理段階の中間生成物が表示されます。

処理が完了したら、気に入った段階のものを **タイムライン** から選択できます(この機能は、 Home Deluxe と Business ライセンスでのみ利用可能)。

処理を中断する場合は、進捗バーの横にある **[停止]** ボタンをクリックします(すべてのライセンス タイプに共通)。

結果は[処理後]タブに表示されます。

ステップ 3: 結果を処理する事もできます。 後処理ツール (Home Deluxe と Business 版でのみ両可能)を使って、余分なラインを削除したり、新たなラインを追加したりできます。

最も便利なツールは、不要なストロークを簡単に削除できる **消しゴム** です。

ステップ 4: スケッチに、キャンバス テクスチャ を加えることもできます。

AKVISプログラム

AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 詳細情報

AKVIS Artifact Remover AI — JPEG-圧縮画像のレストア

AKVIS Artifact Remover AIは、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質へと補整します。このプログラムは4つの画像修復モードを提供し、それぞれ今回特別に開発された独自のニューラルネットワークを使用します。このソフトウェアは、ホームユーザーは無料で利用できます。商用利用には、ビジネスライセンスを提供しています。 詳細情報

AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。 写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。 ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。 詳細情報

AKVIS ArtWork — 多彩なペイント/描画技法

AKVIS ArtWork は、様々な芸術技術を写真に与えるための画像変換ソフトウェアです。*油絵*、*水彩*、*グワッシュ*、*コミック*、*ペン＆インク*、*リノカット*、*ステンシル*、*パステル*、*点描画法*です。Artwork を使うと、デジタル写真が芸術作品に早変わり！ 詳細情報

AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。 このツールはいくつかの目的に役立ちます: 写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい（コラージュ作成），いらない不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい（クローンツールと類似）。 詳細情報

AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。 色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 詳細情報

AKVIS Coloriage AI — 白黒写真を色付け

AKVIS Coloriage AI では白黒写真の色付けができます。このプログラムは、機械学習に基づくAIによる画像カラー化モードと、ゾーン選択を使用した手動カラー化の古典的な方法を搭載しています。 古い家族写真に新しい命を吹き込みましょう！ 詳細情報

AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

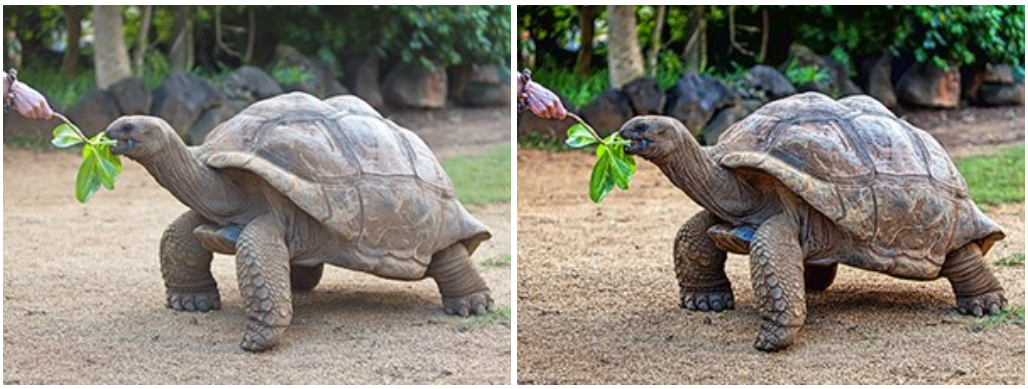
AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。 このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 詳細情報

AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します！ ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 詳細情報

AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。 本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 詳細情報



AKVIS Explosion — 素晴らしい粒子の爆発効果

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます！ 詳細情報

AKVIS Frames — あなたの写真をフレームで飾りましょう

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ 詳細情報

AKVIS HDRFactory — 実際よりも明るい画像に!

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。 AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ 詳細情報

AKVIS Inspire AI — イメージの芸術的スタイル化

AKVIS Inspire AI は、様々な絵画のサンプルを使用してイメージをスタイル化します。AIに基づくプログラムが、選択した芸術作品のカラースキームとスタイルを写真に適用し、新しい芸術作品を作り出します。このソフトウェアは、芸術スタイルのギャラリーを備えており、カスタム サンプルを読み込むことができます。世界中の有名なアーティストのスタイルを模倣しましょう！ 詳細情報

AKVIS LightShop — 光と星の効果

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雫に映る反射、暖炉の燻っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! 詳細情報

AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます！

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。 Magnifier AI は、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。Magnifier AI で写真の解像度と品質を向上させましょう! 詳細情報

AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう！

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 詳細情報

AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

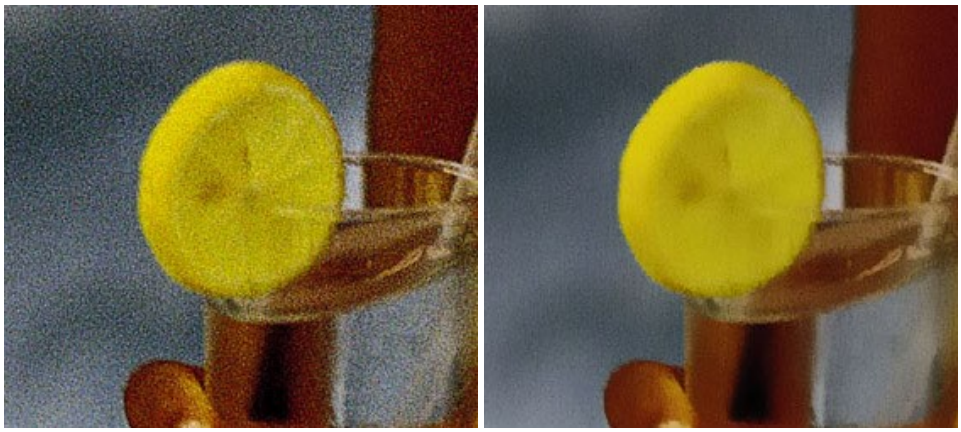
AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。 自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます！ 詳細情報

AKVIS Neon — グローエフェクト

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます！ 詳細情報

AKVIS Noise Buster AI — デジタルノイズリダクション

AKVIS Noise Buster AI を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。 詳細情報



AKVIS OilPaint — 油絵効果

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 詳細情報

AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。 このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 詳細情報

AKVIS Points — 写真に点描画法の効果を適用!

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! 詳細情報

AKVIS Refocus AI — ピンボケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。 本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。 詳細情報

AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。 Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。 Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができるのです。 詳細情報

AKVIS Sketch — 写真を鉛筆画に変換

AKVIS Sketch は、写真を素晴らしい鉛筆画へと自動的に変換するためのソフトウェアです。本物のようなカラーの鉛筆画 、白黒のスケッチ画を作り出し、黒鉛、色鉛筆の技法を真似た効果を写真に与えることもできます。 写真からスケッチ画に変換するための技法として、**クラシック**、**アーティスティック**、**マエストロ**、**マルチスタイル**の 4種類と、それぞれプリセットが用意されています。AKVIS Sketch を使うと、プロの芸術家になったような気分を味わえるでしょう! 詳細情報

AKVIS SmartMask AI — 選択作業を簡単に

AKVIS SmartMask AI は、作業時間を節約でき、楽しく使える効果的な選択ツールです。人工知能ツールを搭載したこのプログラムは、画像内の被写体をマスキングする最も便利で高速な方法です。このソフトウェアのおかげで、生産性を大幅に伸ばすことができます。単調な作業から開放され、アイディアの考案やアイディアを実際に作品に取り入れるための時間が十分に取れます。 詳細情報

AKVIS Watercolor — 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。 Watercolor には、写真変換技法が二種類用意されています。水彩 (クラシック) または水彩 (輪郭)を選択できます。写真が本物の絵画のようになります! 詳細情報